

2025 年度（令和 7 年度）  
明石・神戸アカミミガメ対策協議会事業報告

2026 年（令和 8 年）3 月

明石・神戸アカミミガメ対策協議会

会長 亀崎直樹

報告書作成：(株)自然回復 代表取締役 谷口真理

## 目次

|                                                |    |
|------------------------------------------------|----|
| 1. はじめに.....                                   | 1  |
| 2. アカミミガメ防除対象区域.....                           | 1  |
| 3. 各方法.....                                    | 3  |
| 3.1 アカミミガメ捕獲手法.....                            | 3  |
| 3.2 アカミミガメの防除効果の評価方法.....                      | 3  |
| 3.3 各河川の目標値の設定.....                            | 4  |
| 3.4 記録事項と個体の取り扱い（アカミミガメの処分方法）.....             | 4  |
| 4. 全防除対象区域のアカミミガメ等防除実績と目標値達成状況.....            | 5  |
| 4.1 アカミミガメ防除実績（2025 年度）.....                   | 5  |
| 4.2 これまでのアカミミガメ防除実績（2017 年度から 2025 年度）.....    | 5  |
| 4.3 目標値の達成状況（2025 年度）.....                     | 6  |
| 5. 瀬戸川及び周辺ため池でのアカミミガメ防除.....                   | 8  |
| 5.1 瀬戸川流域の概要と目標.....                           | 8  |
| 5.2 実施内容.....                                  | 8  |
| 5.2.1 アカミミガメ防除対象区域（2025 年度）.....               | 8  |
| 5.2.2 目視調査（事前調査）の目的と方法.....                    | 8  |
| 5.2.3 アカミミガメ捕獲方法（2025 年度）.....                 | 8  |
| 5.2.4 ナガエツルノゲイトウの駆除.....                       | 9  |
| (1) 瀬戸川下流域でのナガエツルノゲイトウのモニタリング（補助）.....         | 9  |
| (2) 瀬戸川上流域の清水川でのナガエツルノゲイトウの定期的な刈取.....         | 9  |
| 5.2.5 アカミミガメ捕獲方法（2014 年度から 2024 年度）.....       | 9  |
| 5.3 瀬戸川流域におけるアカミミガメ等の防除の成果.....                | 11 |
| 5.3.1 アカミミガメの捕獲実績と目視調査結果（2025 年度）.....         | 11 |
| 5.3.2 ナガエツルノゲイトウの駆除と目標の達成状況.....               | 13 |
| (1) 瀬戸川下流域でのナガエツルノゲイトウのモニタリング（補助）.....         | 13 |
| (2) 瀬戸川上流域の清水川でのナガエツルノゲイトウの定期的な刈取.....         | 13 |
| (3) 瀬戸川流域ナガエツルノゲイトウ確認位置の地図化と連絡会の開催.....        | 13 |
| (4) ナガエツルノゲイトウ駆除の目標の達成状況.....                  | 13 |
| 5.3.3 瀬戸川のアカミミガメの誘引罟 CPT の変化及び目標達成状況（年ごと）..... | 13 |
| 5.4 瀬戸川流域における今後の方針.....                        | 14 |
| 6. 谷八木川及び周辺ため池でのアカミミガメ防除.....                  | 17 |
| 6.1 谷八木川流域の概要と目標.....                          | 17 |
| 6.2 実施内容.....                                  | 18 |

|                                                   |    |
|---------------------------------------------------|----|
| 6.2.1 アカミミガメ防除対象区域（2025 年度） .....                 | 18 |
| 6.2.2 アカミミガメ調査方法（2025 年度） .....                   | 18 |
| 6.2.3 アカミミガメ捕獲方法（2013 年度から 2024 年度） .....         | 19 |
| 6.3 谷八木川流域におけるアカミミガメの防除の成果 .....                  | 19 |
| 6.3.1 アカミミガメ捕獲実績（2025 年度） .....                   | 19 |
| 6.3.2 谷八木川で目視されるアカミミガメ個体数の変化（年ごと） .....           | 19 |
| 6.4 谷八木川流域における今後の捕獲方法等の方針 .....                   | 20 |
| 7. 赤根川流域におけるアカミミガメ防除 .....                        | 21 |
| 7.1 赤根川流域の概要と目標 .....                             | 21 |
| 7.2 調査内容 .....                                    | 21 |
| 7.2.1 アカミミガメ調査方法（2025 年度） .....                   | 21 |
| 7.2.2 過年度の捕獲方法 .....                              | 21 |
| 7.3 赤根川におけるアカミミガメの防除の成果 .....                     | 21 |
| 7.3.1 アカミミガメ捕獲実績と目視調査結果（2025 年度） .....            | 21 |
| 7.3.2 赤根川のアカミミガメの誘引罟 CPT の変化及び目標達成状況（年ごと） .....   | 21 |
| 7.4 赤根川流域における今後の捕獲方法等の方針 .....                    | 23 |
| 8. 明石川流域における取り組み .....                            | 24 |
| 8.1 明石川の概要と背景 .....                               | 24 |
| 8.2 防除エリアでのアカミミガメ防除の実施 .....                      | 24 |
| 8.2.1 防除エリアと目標値 .....                             | 24 |
| 8.2.2 アカミミガメ捕獲方法（2025 年度） .....                   | 24 |
| 8.2.3 過年度のアカミミガメ捕獲方法 .....                        | 24 |
| 8.2.4 アカミミガメ捕獲実績と ██████████（2025 年度） .....       | 25 |
| 8.2.5 アカミミガメ捕獲実績と ██████████（過年度から 2024 年度） ..... | 25 |
| 8.3 明石川全域での淡水ガメ捕獲調査の実施 .....                      | 25 |
| 8.3.1 2017 年時と同一手法による捕獲調査 .....                   | 25 |
| 8.3.2 種構成、CPT .....                               | 28 |
| 8.3.3 種ごとの分布域の変化 .....                            | 31 |
| 8.4 明石川のアカミミガメ防除範囲の拡大の試み .....                    | 31 |
| 8.5 明石川流域での今後の方針 .....                            | 31 |
| 9. 市民による防除活動の推進 .....                             | 32 |
| 9.1 普及・啓発活動 .....                                 | 32 |
| 9.1.1 小学校を対象とした出前授業の実施 .....                      | 32 |
| 9.1.2 成果報告会・捕獲体験会「はじめての川活」の開催 .....               | 33 |
| 9.1.3 動画の配信 .....                                 | 39 |
| 9.1.4 その他 普及啓発 .....                              | 39 |

|                                          |    |
|------------------------------------------|----|
| 9.2 市民参加型のアカミミガメ防除活動 .....               | 39 |
| 9.2.1 外来種捕獲を実践的に行う「川活・池活」の定期開催 .....     | 39 |
| 9.2.2 日光浴罌の貸し出しによる市民参加型のアカミミガメ防除活動 ..... | 41 |
| 9.3 市民による防除活動の推進の今後の方針 .....             | 42 |
| 10. 今後の展開と課題（全体） .....                   | 43 |

## 1. はじめに

明石・神戸アカミミガメ対策協議会は、明石市及び神戸市における地域の生物多様性の保全と再生を目指し、広域を対象とした外来種アカミミガメ防除管理手法の確立を目的に2017年に設立した。これまでアカミミガメの移動範囲などの生態学的な事柄を明らかにし、アカミミガメ防除を実践するとともに防除実施手順を検討してきた。また、それら成果をもとに2019年度には『誰でもできるアカミミガメ防除』を発行・配布し、防除活動の普及啓発に取り組んできた。

2025年度は、これまでアカミミガメ防除を実施してきた瀬戸川、谷八木川、明石川、赤根川の4河川流域における防除を、各河川で設定した目標値の達成を目指して実践した。それら防除の経過報告をするとともに、今後の効果的な捕獲方法について検討した。また、中長期的にアカミミガメ防除等に携わる市民を増やすための普及啓発を積極的に行った。さらに、瀬戸川の上流域である清水川では、2019年11月に特定外来生物ナガエツルノゲイトウの侵入が確認されたことから、瀬戸川全域ではアカミミガメ防除とともにナガエツルノゲイトウの防除等の対策を同時に実施した。

以下にそれらについて報告をする。なお、本稿では、2026年3月10日までのデータを取りまとめた。

## 2. アカミミガメ防除対象区域

防除対象河川である瀬戸川、谷八木川、明石川、赤根川の4河川流域を示す（図2）。明石川は上流域の一部（図2の赤枠）を防除対象区域とし、その他の河川は全域を対象としている。各河川の概要を表2に示す。

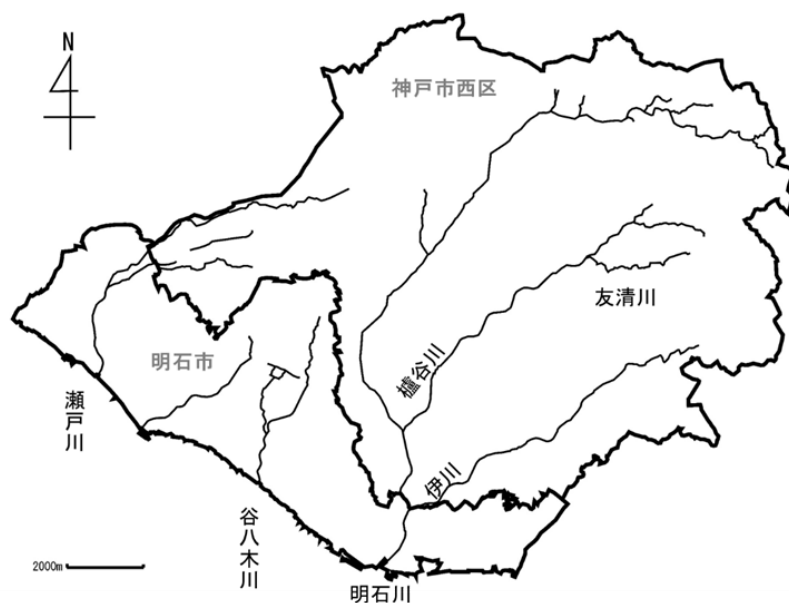


図2 防除対象河川の4河川 赤枠は明石川の一部の防除エリアを示す。

表2 各4河川の概要

| 河川名  |       | 行政<br>区域 | 河 川 距<br>離 (km) | 防除<br>開始年 | 特記事項                                                                                                                                                                                     | 防除実施主体<br><br>※本稿では各主体所有のデータを使用して報告                                                           |
|------|-------|----------|-----------------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 瀬戸川  | 上流域   | 神戸       | 全域<br>10.9km    | 2016 年    | 明石市及び神戸市を流れる河川で、2016 年度以降、河川全域を対象に <b>2 市で協働して防除を実施。2019 年 11 月にナガエツルノゲイトウの侵入</b> を寛政池（河川を堰き止める形で中流域に位置）とその上流の清水川（神戸市域）で確認し、以降、アカミミガメ防除と連携して対策を実施。加えて、2024 年以降は清水川でナガエツルノゲイトウの定期的な刈取を実施。 | 2016 年度　神戸市<br>2016～2018 年度　環境省<br>2017 年度～現在　明石・神戸アカミミガメ対策協議会                                |
|      | 下流域   | 明石       | 全域<br>5.2km     | 2014 年    |                                                                                                                                                                                          | 2014～2016 年度　明石市ミシシippiaカミミガメ対策協議会<br>2016～2018 年度　環境省<br>2017 年度～現在　明石・神戸アカミミガメ対策協議会         |
| 谷八木川 |       | 明石       | 全域<br>4.6km     | 2013 年    | 明石市流れる河川で、 <b>河川全域と河川周辺 500m以内に位置するため池</b> を対象に防除を実施。                                                                                                                                    | 2013 年度　明石市<br>2014～2016 年度　明石市ミシシippiaカミミガメ対策協議会<br>2017 年度～現在　明石・神戸アカミミガメ対策協議会              |
| 赤根川  |       | 明石       | 全域<br>2.5km     | 2015 年    | 明石市を流れる河川で、河川全域を対象に防除を実施。2018 年度から 2021 年度は <b>防除を一時中断</b> し、2022 年度から <b>再開</b> 。                                                                                                       | 2015～2016 年度　明石市ミシシippiaカミミガメ対策協議会<br>2017 年度　明石・神戸アカミミガメ対策協議会<br>2022 年度～現在　明石・神戸アカミミガメ対策協議会 |
| 明石川  | エリア 1 | 神戸       | 一部<br>0.6km     | 2018 年    | 明石市及び神戸市を流れる河川で、2017 年度に河川全域の生息実態調査を実施。 <b>[注釈]</b>                                                                                                                                      | 2017 年度～現在　明石・神戸アカミミガメ対策協議会                                                                   |
|      | エリア 2 | 神戸       | 一部<br>2.5km     | 2018 年    | <b>[注釈]</b>                                                                                                                                                                              |                                                                                               |
|      | エリア 3 | 神戸       | 一部<br>0.7km     | 2020 年    | <b>[注釈]</b>                                                                                                                                                                              |                                                                                               |

### 3. 各方法

#### 3.1 アカミミガメ捕獲手法

カメの捕獲には、誘引罟と日光浴罟の捕獲罟を用いた手法と、手探りによる捕獲の3つの手法を用いた。各手法について表 3.1 に示す。

表 3.1 各捕獲手法の概要

| 捕獲<br>手法        | 誘引罟による捕獲                                                                          | 日光浴罟による捕獲                                                                          | 手探りによる捕獲                                                                            |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
|                 |  |  |  |
|                 | 餌で誘引して捕獲。本稿では餌はアジやイワシなど鮮魚を使用。                                                     | カメが日光浴する習性を利用して捕獲。                                                                 | 主に越冬中のカメを対象に、川に直接、人が入り、手探りやたも網を使用して捕獲。                                              |
| 捕獲<br>までの<br>期間 | 設置後、1 日以内に 1 回収を行い捕獲。                                                             | 設置後、常設し、月に 1 から 2 回程度回収を行い捕獲。                                                      | 数時間で捕獲。                                                                             |
| 対象<br>環境        | 河川や池などのあらゆる水域で利用可能。本稿では河川で使用。                                                     | 池など止水域での利用可能。本稿ではため池で使用。                                                           | 河川。                                                                                 |
| 罟数              | 本稿では、およそ 56m ごとにまんべんなく設置                                                          | 本稿ではため池 1 箇所につき、基本 1 個の日光浴罟を設置。一部のため池では 2 個設置                                      |                                                                                     |
| 捕獲<br>時期        | 水温 15 度以上が適期。本稿では 5 月から 10 月に捕獲を実施。                                               | 気温 20 から 25 度が適期。本稿では冬季以外の時期に点検を実施。                                                | 年中、実施可能だが、越冬時期が適当。本稿では秋から冬に実施。                                                      |

#### 3.2 アカミミガメの防除効果の評価方法

アカミミガメの防除効果进行评估するために、表 3.2 の 4 つの値を用いた。

表 3.2 アカミミガメの防除効果等を評価する各値の定義と算出方法など

|                              | 算出方法など                                                                                                                                                                |
|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 誘引罟 CPT<br>(Catch Per Trap)  | 誘引罟 1 個を 1 日仕掛けした際に捕獲される個体数の平均値を、単位努力量あたりの捕獲個体数として算出した値。誘引罟は淡水ガメを捕獲する際に最も一般的に用いられる手法で、誘引罟 CPT は淡水ガメ類の生息密度の指標として利用されている。 <u>各河川の目標値として利用。</u>                          |
| 日光浴罟 CPT<br>(Catch Per Trap) | 日光浴罟 1 個あたりに捕獲されるカメの個体数を 1 か月 (30 日) 単位に換算した値。計算式 = { (回収 1 回あたりに捕獲された総個体数) / (全罟個数) } × { 30 日 / (設置日数) } 設置日数は設置から回収までの日数または前回の回収からの日数を示す。日光浴罟で捕獲されるアカミミガメの増減などを評価。 |
| 目視個体数                        | 目視されるカメの個体数。捕獲調査で得られたデータを補足する形で、アカミミガメの増減等を評価する値として使用。                              |
|                              | アカミミガメ<br>アカミミガメの防除の効果を評価するため、 <u>明石川では目標値として利用。</u>                                                                                                                  |

### 3.3 各河川の目標値の設定

各河川のアカミミガメ防除の目標はいずれも誘引罟 CPT を目標値として用いた。各河川の目標値は、過去の値を考慮して設定し、表 4.3 に示す。

さらに、瀬戸川については、ナガエツルノゲイトウも侵入していることから、ナガエツルノゲイトウ防除の目標値として、2023 年度時の瀬戸川流域におけるナガエツルノゲイトウの生育範囲からの駆除した割合とすることとした。

### 3.4 記録事項と個体の取り扱い (アカミミガメの処分方法)

捕獲したカメは、罟ごとに個体数 (種ごと) 等を記録した。スッポン等が捕獲された場合は捕獲地点へ放流した。雌雄判別、体サイズを計測し、マイクロチップと円形プラスチックタグによる個体識別を施した。また、クサガメとの交雑の有無等を調べるための遺伝子サンプル用の肉片を 2019 年度以降採取している。アカミミガメは、神戸市域で捕獲した個体は『アカミミガメ防除の手引き』(環境省、2019) に従い、殺処分した。明石市域で捕獲した個体は同市クリーンセンター内に設置された保管プールに収容した。

#### 4. 全防除対象区域のアカミミガメ等防除実績と目標値達成状況

##### 4.1 アカミミガメ防除実績（2025 年度）

アカミミガメ防除対象区域である 4 河川流域（図 2）で、2025 年度は、アカミミガメ合計 1,111 個体（2024 年度の 5%増）を捕獲した。各河川流域の内訳を捕獲手法別に表 4.1 に示す。

表 4.1 2025 年度に瀬戸川、谷八木川、赤根川、明石川の 4 河川流域で捕獲したアカミミガメ個体数（捕獲手法別）の数字は 2024 年度時の捕獲個体数からの増減

|             | アカミミガメ捕獲個体数   |              |               |                |
|-------------|---------------|--------------|---------------|----------------|
|             | 誘引罟           | 日光浴罟         | 手探り           | 計              |
| 瀬戸川流域 明石市域  | 102<br>(-34)  | 63<br>(+2)   | 55<br>(-85)   | 220<br>(-117)  |
| 瀬戸川流域 神戸市域  | 20<br>(-70)   | 99<br>(+32)  | 50<br>(-48)   | 169<br>(-86)   |
| 谷八木川流域 明石市域 | -             | 221<br>(+39) | 59<br>(-18)   | 280<br>(-6)    |
| 赤根川流域 明石市域  | 93            | -            | 128<br>(-41)  | 221<br>(+52)   |
| 明石川流域 神戸市域  | 118<br>(+111) | -            | 103<br>(+100) | 221<br>(+211)  |
| 明石市域 計      | 195<br>(+32)  | 284<br>(+41) | 242<br>(-144) | 721<br>(-71)   |
| 神戸市域 計      | 138<br>(+41)  | 99<br>(+32)  | 153<br>(+52)  | 390<br>(+125)  |
| 合計          | 333<br>(+73)  | 383<br>(+73) | 395<br>(-92)  | 1,111<br>(+54) |

※明石川流域は、防除エリア外での捕獲を含む（8.3 及び 8.4 参照）

##### 4.2 これまでのアカミミガメ防除実績（2017 年度から 2025 年度）

本協議会設立後の 2017 年度から 2025 年度までに、合計 16,288 個体のアカミミガメを捕獲した（環境省など他主体が行った防除データ含む）。年度ごとのアカミミガメの捕獲個体数を河川流域ごと（瀬戸川は上流〔神戸市域〕と下流〔明石市域〕に分けて集計）に図 4.2 に示す。

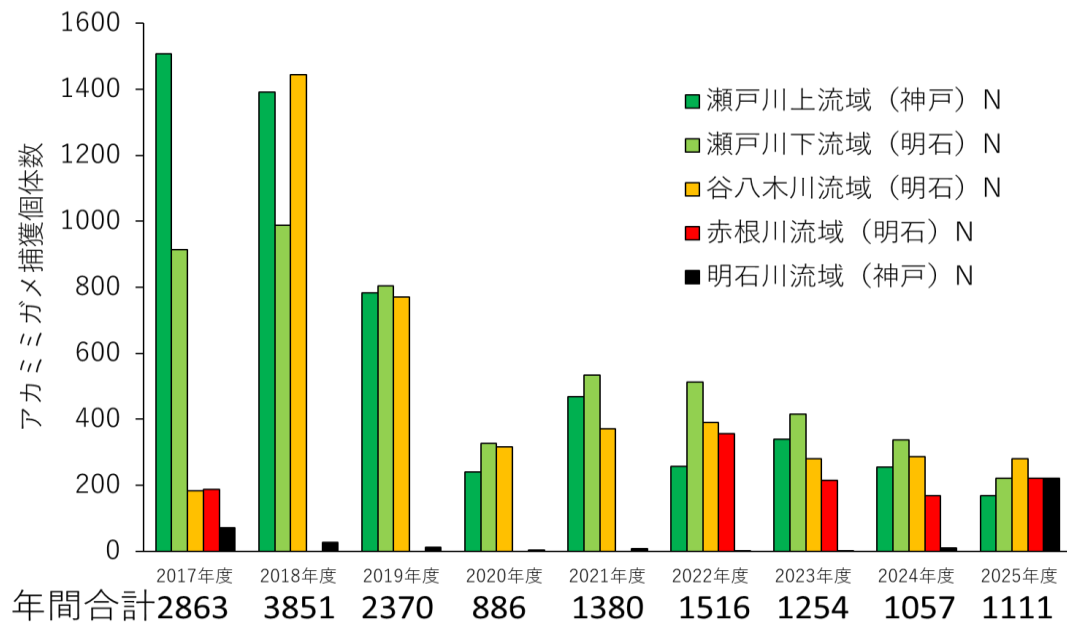


図 4.2 アカミミガメ捕獲個体数（年度別・流域別）※2017 年度から 2018 年度は環境省など他主体が行った防除データ含み、明石川流域は 2017 年度及び 2025 年度は防除エリア外での捕獲を含む

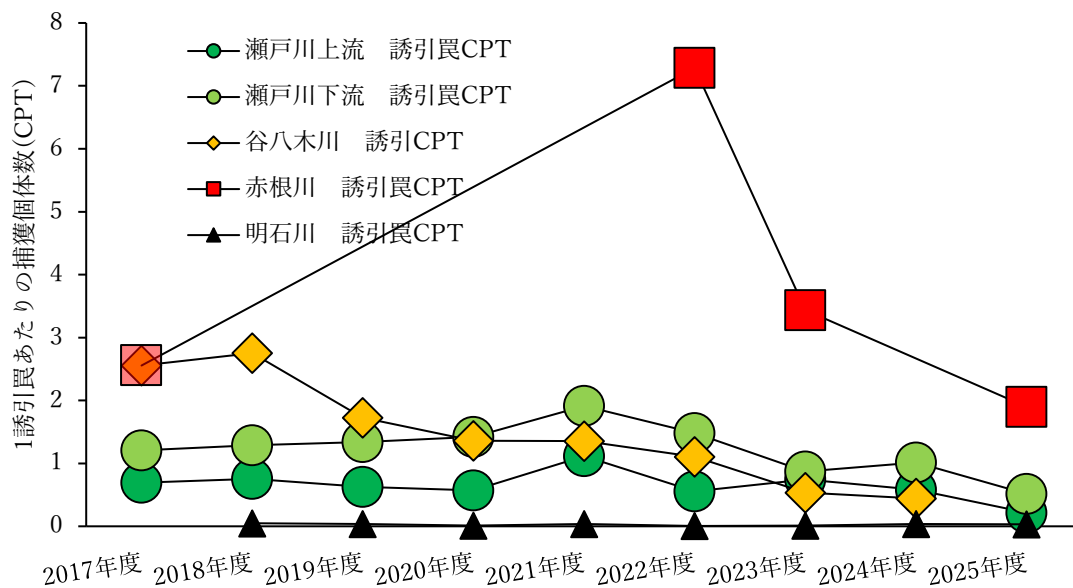


図 4.3 河川別のアカミミガメの誘引罟 CPT の変化（年度別・流域別）

※明石川流域は防除エリアの誘引罟 CPT を示す

#### 4.3 目標値の達成状況（2025 年度）

各河川の目標値の達成状況を表 4.3 に示す。また、目標値の 1 つであるアカミミガメの誘引罟 CPT の河川別の値を図 4.3 に示す（明石川流域は防除エリアでの誘引罟 CPT）。

表 4.3 各河川の目標値とその達成状況（2025 年度）

| アカミミガメ防除対象区域                         | 2025 年度目標値<br>(2024 年度目標値) |                                                                                                                                                                            | 2025 年度結果<br>(2024 年度結果) |                                                                                                                                                                                |      |
|--------------------------------------|----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
|                                      | 誘引罟<br>CPT                 |                                                                                           | 誘引罟<br>CPT               |                                                                                             | 達成状況 |
| 瀬戸川下流域（明石市域）                         | 0.8 未満<br>(0.9 未満)         |                                                                                           | <b>0.52</b><br>(1.01)    |                                                                                             | ◎    |
| 瀬戸川上流域（神戸市域）                         | 0.6 未満<br>(0.7 未満)         |                                                                                           | <b>0.22</b><br>(0.58)    |                                                                                             | ◎    |
| 谷八木川（明石市域）                           | 0.8 未満<br>(0.9 未満)         |                                                                                           | -※1<br>(0.45)            |                                                                                             | -    |
| 赤根川（明石市域）                            | 1.0 未満<br>(1.0 未満)         |                                                                                           | 1.9<br>-※2               |                                                                                             | ×    |
| 明石川（神戸市域、エリア 1）                      | 0<br>(0.3 未満)              | <br>    | 0.03<br>(0.03)           | <br>    | ○    |
| 明石川（神戸市域、エリア 2）                      | 0<br>(0.3 未満)              | <br> | -※3<br>(0.05)            | <br> | ○    |
| 明石川（神戸市域、エリア 3）                      | 0<br>(0.3 未満)              | <br> | 0.03<br>(0.03)           | <br> | ○    |
| ナガエツルノゲイトウ<br>防除対象区域                 | 2025 年度目標値<br>(2024 年度目標値) |                                                                                                                                                                            | 2025 年度結果<br>(2024 年度結果) |                                                                                                                                                                                |      |
|                                      | ナガエツルノゲイトウの<br>生育範囲（％）     |                                                                                                                                                                            | ナガエツルノゲイトウ<br>の生育範囲（％）   |                                                                                                                                                                                | 達成状況 |
| 瀬戸川下流域 ナガエツルノゲイトウの生育範囲（明石市域）         | 100％駆除<br>(80％駆除)          |                                                                                                                                                                            | 50％駆除<br>(60％駆除)         |                                                                                                                                                                                | ×    |
| 瀬戸川流域 寛政池のナガエツルノゲイトウの生育範囲（神戸市域）      | 100％駆除<br>(80％駆除)          |                                                                                                                                                                            | <b>100％駆除</b><br>(60％駆除) |                                                                                                                                                                                | ◎    |
| 瀬戸川上流域（清水川）<br>ナガエツルノゲイトウの生育範囲（神戸市域） | 100％駆除<br>(80％駆除)          |                                                                                                                                                                            | 69％駆除<br>(69％駆除)         |                                                                                                                                                                                | ×    |

※1 2025 年度は誘引罟による捕獲は未実施

※2 2024 年度は誘引罟による捕獲は未実施

※3 河川工事により誘引罟による捕獲は未実施

## 5. 瀬戸川及び周辺ため池でのアカミミガメ防除

### 5.1 瀬戸川流域の概要と目標

瀬戸川は、兵庫県明石市及び神戸市を流れ、瀬戸内海に開口する河川である（図 5.1）。途中、河川中流で河川を堰き止める形で、寛政池（図 5.1、表 5.1、ため池 NO14）が位置する。また、瀬戸川流域内には複数の農業用ため池があり（図 5.1）、農業用水として利用されている。2019 年 11 月には、寛政池とその上流の清水川（神戸市域）で特定外来生物ナガエツルノゲイトウの侵入・定着が確認されている（図 5.1 中の×）。これら瀬戸川流域において、アカミミガメに対しては目標値（各市で設定）の達成を目指し、本種の捕獲を実施した。ナガエツルノゲイトウに対しては、本種の生育範囲の縮小を目標に、アカミミガメの防除を行う際にナガエツルノゲイトウの侵入の有無の確認とその駆除を補助的に実施した。加えて、下流域へのナガエツルノゲイトウの流出を低減させるため、2024 年度から清水川の一画でナガエツルノゲイトウの定期的な刈取を実施している。

### 5.2 実施内容

#### 5.2.1 アカミミガメ防除対象区域（2025 年度）

2025 年度の瀬戸川流域のアカミミガメ防除対象区域を表 5.1 に示す。河川は、A から I の 9 つの河川区間に区分して（図 5.1）、その全区間を対象とした。

#### 5.2.2 目視調査（事前調査）の目的と方法

アカミミガメの捕獲を効果的に行うために、2022 年度以降、事前調査として、捕獲の前に目視調査を行った。目視調査結果に基づいて、誘引罟の設置場所や手探りによる捕獲の実施場所を決定した。目視調査は、河川沿いを 2～3 名で歩いて、目視される淡水ガメの個体数と目視場所を記録した。2025 年度の調査は、誘引罟による捕獲を予定していた河川区間 A、B、C、D、E を対象に、捕獲前の 5 月から 6 月に行った。また、過年度との比較のため、過年度と同一時期の 9 月に全域を対象に行った。いずれも午前 10 時頃から午後 3 時頃の晴天日に行った。

#### 5.2.3 アカミミガメ捕獲方法（2025 年度）

2025 年度は、誘引罟による捕獲を、河川区間の A、B、C、D、E を対象に行った（図 5.1）。河川区間 B と E は、5 月 29 日から 31 日、河川区間 A は、6 月 17 日から 19 日、河川区間 C と D は 6 月 27 日から 2 日にかけて行った。この間、誘引罟は 2 日連続で設置し、設置した翌日と翌々日に罟を回収してカメを捕獲した（回収 2 回）。この間、延べ 290 個の誘引罟を設置した（各河川区間設置罟数は A：60 個、B：60 個、C：78 個、D32 個、E：60 個）。また、河川周辺のため池（表 5.1、4 箇所）では、日光浴罟による捕獲を行った。2025 年 4 月から 12 月の間に、ため池 1 箇所につき 10 回程度の捕獲個体の回収を行った。さらに河川では、手探りによる捕獲を、すべての河川区間の一部を対象に、2025 年 11 月から 2026

年 3 月に 13 回行った。なお、いずれの調査中、ナガエツルノゲイトウの侵入の有無等を確認し、異常があった場合は、対策対応機関に報告を行った。

#### **5.2.4 ナガエツルノゲイトウの駆除**

##### **(1) 瀬戸川下流域でのナガエツルノゲイトウのモニタリング（補助）**

寛政池を含めた下流域においては、アカミミガメの捕獲等の際に、ナガエツルノゲイトウの侵入・定着の新たな箇所を発見した場合や、防草シート等のナガエツルノゲイトウ対策を実施した箇所の不備等と確認した場合などは、対策対応機関に報告を行った。また、2024 年度に寛政池の流入部と下流部に設置したネットフェンスを定期的に点検し、ナガエツルノゲイトウの有無など確認した。

##### **(2) 瀬戸川上流域の清水川でのナガエツルノゲイトウの定期的な刈取**

瀬戸川流域でのナガエツルノゲイトウの最上流部の生育範囲である清水川（寛政池より上流域）において、対策未実施区間を対象に定期的な刈取を行った。刈取は、2025 年 5 月から 2026 年 3 月に 8 回行った。また、対策完了区間においてもナガエツルノゲイトウの再定着の有無などの確認を行い、異常があった場合は対策対応機関に報告を行った。

#### **5.2.5 アカミミガメ捕獲方法（2014 年度から 2024 年度）**

本河川流域のアカミミガメ防除は、2014 年度より河川下流域の明石市域で開始し、その後 2016 年度より上流域の神戸市域を含めた流域を対象に実施してきた。また、この間、瀬戸川でのアカミミガメの捕獲は、夏から秋の時期に誘引罟を用いて行った。過年度の河川での誘引罟の捕獲努力量を図 5.3.4a に示す。一方、河川流域内のため池では、防除開始の 2014 年度以降、誘引罟を中心に捕獲を行ってきたが、2018 年度以降は日光浴罟を導入し、継続的に実施している。さらに、2022 年度以降は河川では手探りによる捕獲を実施している。

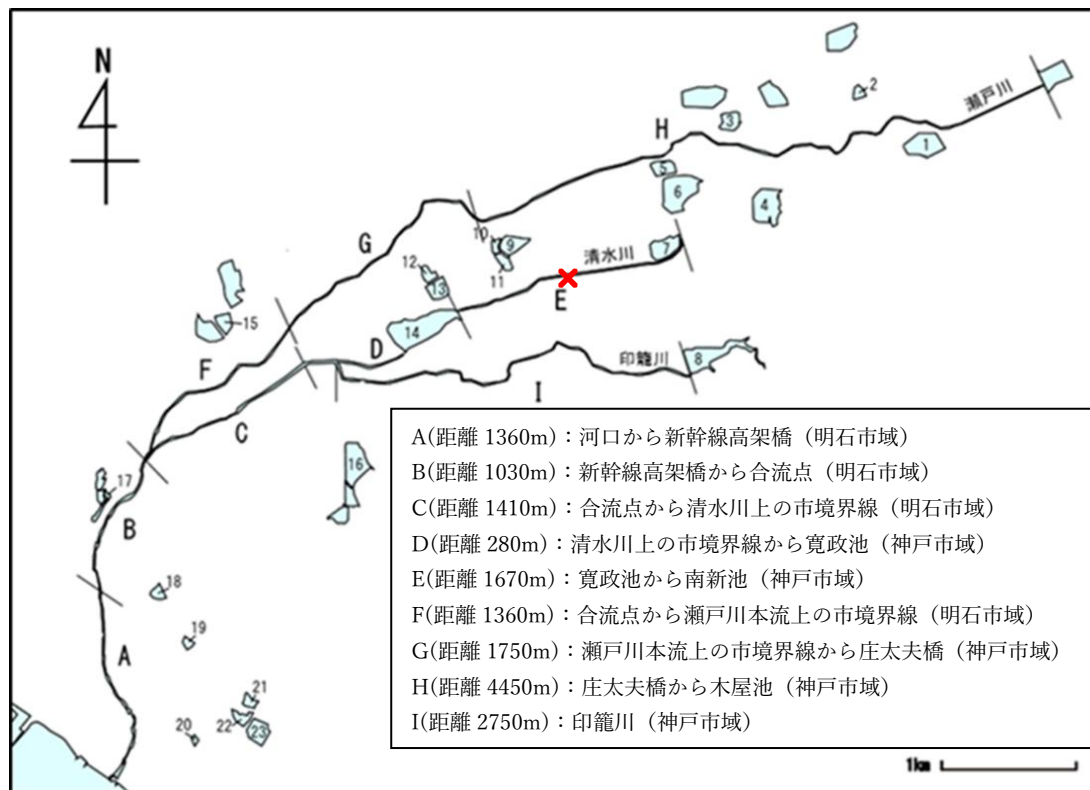


図 5.1 瀬戸川とその周辺のため池 23 箇所（図中のアルファベットは河川区間、数字はため池 No を示し、ため池 No は表 5.1 一致する。✕は 2019 年 11 月にナガエツルノゲイトウの侵入を確認した地点を示す）

表 5.1 各河川区間及びため池（2025 年度）

| ため池<br>NO | 地名   | 行政区分 | 防除<br>実施 | ため池<br>NO | 地名   | 行政区分 | 防除<br>実施 |
|-----------|------|------|----------|-----------|------|------|----------|
| 1         | 三号池  | 神戸市  |          | 17        | 湯の池  | 明石市  |          |
| 2         | 四ッ塚池 | 神戸市  |          | 18        | 山川下池 | 明石市  |          |
| 3         | 耳塚池  | 神戸市  |          | 19        | 平池   | 明石市  |          |
| 4         | 天狗池  | 神戸市  |          | 20        | 半蔵池  | 明石市  |          |
| 5         | 北新池  | 神戸市  |          | 21        | 中尾新池 | 明石市  | ▲        |
| 6         | 野中大池 | 神戸市  | ▲        | 22        | 尻の池  | 明石市  |          |
| 7         | 南新池  | 神戸市  | ▲        | 23        | 中尾皿池 | 明石市  |          |
| 8         | 印籠池  | 神戸市  |          | 河川        | 瀬戸川A | 明石市  | ●        |
| 9         | 添池   | 神戸市  |          | 河川        | 瀬戸川B | 明石市  | ●        |
| 10        | 戎池   | 神戸市  |          | 河川        | 清水川C | 明石市  | ●        |
| 11        | 大黒池  | 神戸市  |          | 河川        | 清水川D | 神戸市  | ●        |
| 12        | 下池   | 神戸市  |          | 河川        | 清水川E | 神戸市  | ●        |
| 13        | 下池新池 | 神戸市  |          | 河川        | 瀬戸川F | 明石市  |          |
| 14        | 寛政池  | 明石市  | ▲        | 河川        | 瀬戸川G | 神戸市  |          |
| 15        | 寺山池  | 明石市  |          | 河川        | 瀬戸川H | 神戸市  |          |
| 16        | 清水新池 | 明石市  |          | 河川        | 印籠川I | 神戸市  |          |

※●は誘引罟による捕獲を、▲は日光浴罟による捕獲を  
 2025 年度に実施したため池及び河川区間で、ため池 No  
 は図 5.1 と一致する。

5.3 瀬戸川流域におけるアカミミガメ等の防除の成果

5.3.1 アカミミガメの捕獲実績と目視調査結果（2025 年度）

2025 年度は、複数の捕獲方法により合計 389 匹（2024 年度の 35%減少）のアカミミガメを捕獲した。全域の目視調査では 165 匹（2024 年度から 17%増加、神戸市域で増加）のアカミミガメを確認した。各捕獲手法のアカミミガメを含めた淡水ガメの捕獲個体数の内訳を表 5.3.1 に示す。

表 5.3.1 瀬戸川流域の各捕獲手法の淡水ガメの捕獲個体数と目視個体数（2025 年度）

|                   |  | 目視個体数(9月) |      |   |      |     | 割合     |   |   |   |   |
|-------------------|--|-----------|------|---|------|-----|--------|---|---|---|---|
|                   |  | アカミミガメ    | クサガメ |   | スッポン | その他 | アカミミガメ |   |   |   |   |
| 目視個体数 明石市域（下流域）   |  | 60        | 21   | ■ | 0    | 0   | 74.1   | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減       |  | -27       | -14  | ■ | 0    | 0   |        |   |   |   |   |
| 神戸市域（上流域）河川区間Iを除く |  | 73        | 1    | ■ | 4    | 0   | 93.6   | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減       |  | 19        | -4   | ■ | 4    | 0   |        |   |   |   |   |
| 合計                |  | 133       | 22   | ■ | 4    | 0   | 83.6   | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減       |  | -8        | -18  | ■ | 4    | 0   |        |   |   |   |   |

|                |             | 捕獲努力量 |      | 捕獲個体数  |      |     |      |      | 割合     |   |   |   |  |
|----------------|-------------|-------|------|--------|------|-----|------|------|--------|---|---|---|--|
|                |             |       |      | アカミミガメ | クサガメ |     | スッポン | その他  | アカミミガメ |   |   |   |  |
| 誘引罟 明石市域（下流域）  | 延べ罟数        | 198   | 102  | 381    | ■    | 2   | 0    | 21.0 | ■      | ■ | ■ | ■ |  |
|                | 2024年度からの増減 | 64    | -34  | 129    | ■    | -12 | -1   |      |        |   |   |   |  |
| 神戸市域（上流域）      | 延べ罟数        | 92    | 20   | 19     | ■    | 0   | 0    | 51.3 | ■      | ■ | ■ | ■ |  |
|                | 2024年度からの増減 | -63   | -70  | -138   | ■    | -6  | 0    |      |        |   |   |   |  |
| 日光浴罟 明石市域（2箇所） | 点検回数        | 16    | 63   | 1      | ■    | 0   | 0    | 98.4 | ■      | ■ | ■ | ■ |  |
|                | 2024年度からの増減 | -4    | 2    | 0      | ■    | 0   | 0    |      |        |   |   |   |  |
| 神戸市域（2箇所）      | 点検回数        | 19    | 99   | 4      | ■    | 0   | 0    | 96.1 | ■      | ■ | ■ | ■ |  |
|                | 2024年度からの増減 | -1    | 32   | -8     | ■    | 0   | 0    |      |        |   |   |   |  |
| 手探り 明石市域       | 捕獲回数        | 6     | 55   | 51     | ■    | 0   | 0    | 51.4 | ■      | ■ | ■ | ■ |  |
|                | 2024年度からの増減 | -1    | -85  | -95    | ■    | 0   | 0    |      |        |   |   |   |  |
| 神戸市域           | 捕獲回数        | 7     | 50   | 22     | ■    | 0   | 0    | 69.4 | ■      | ■ | ■ | ■ |  |
|                | 2024年度からの増減 | -5    | -48  | -3     | ■    | -1  | 0    |      |        |   |   |   |  |
| 明石市域 合計        |             |       | 220  | 433    | ■    | 2   | 0    | 33.5 | ■      | ■ | ■ | ■ |  |
| 2024年度からの増減    |             |       | -117 | 34     | ■    | -12 | -1   |      |        |   |   |   |  |
| 神戸市域 合計        |             |       | 169  | 45     | ■    | 0   | 0    | 79.0 | ■      | ■ | ■ | ■ |  |
| 2024年度からの増減    |             |       | -86  | -149   | ■    | -7  | 0    |      |        |   |   |   |  |
| 合計             |             |       | 389  | 478    | ■    | 2   | 0    | 44.7 | ■      | ■ | ■ | ■ |  |
| 2024年度からの増減    |             |       | -203 | -115   | ■    | -19 | -1   |      |        |   |   |   |  |



図 5.3.2 (1) a ナガエツルノゲイトウ刈取前後の様子（清水小学校前、左は刈取前に撮影し、右は刈取後 2025 年 12 月 14 日に撮影）



図 5.3.2 (1) b ナガエツルノゲイトウ刈取前後の様子（大見橋近辺、左は刈取前に撮影し、右は刈取後 2026 年 1 月 25 日に撮影）

### 5.3.2 ナガエツルノゲイトウの駆除と目標の達成状況

#### (1) 瀬戸川下流域でのナガエツルノゲイトウのモニタリング（補助）

寛政池では、池より上流（発生源の清水川）から流入するナガエツルノゲイトウのさらなる池内での定着を防ぎ、かつ池より下流への流出を防止する対策を2020年度以降、集中的に実施していたが、2025年1月の調査でナガエツルノゲイトウの生育は確認されなかった。また、寛政池の流入部と下流部に設置したネットフェンスの定期的な確認でもナガエツルノゲイトウは確認されなかった。一方、寛政池より下流域では、河川管理者の方針により、2026年2月まで対策は行われなかったため、後述する川活・池活（9.2.1 参照）により緊急的に刈取を行った。刈取は2025年12月14日（図 5.3.2 (1) a、清水小学校前）と、2026年1月25日（図 5.3.2 (1) b、大見橋近辺）に行い、計19名の市民に参加いただき、合計2,260キロ（清水小前1430キロ、大見橋近辺830キロ）のナガエツルノゲイトウを処理した。

#### (2) 瀬戸川上流域の清水川でのナガエツルノゲイトウの定期的な刈取

瀬戸川上流域の清水川（寛政池より上流）でのナガエツルノゲイトウの定期的な刈取（計8回）により、27.5人・日（2024年度35人・日）で、合計990キロ（2024年度合計2,950キロ、2024年度の198%減）のナガエツルノゲイトウを駆除した。なお、8回の刈取のうち、2回は後述する川活・池活（9.2.1 参照）により行い、計9名（人・日には含めず）の市民に参加いただいた。

#### (3) 瀬戸川流域ナガエツルノゲイトウ確認位置の地図化と連絡会の開催

瀬戸川でのナガエツルノゲイトウの侵入・定着の現状把握をするために、本種が侵入した地点を対策状況によって色分けしプロットしたGISを活用した地図を作成した（図 5.3.2 (3)）。この地図を、専門家、ため池管理者や管轄行政等の関係機関と共有し、対策が円滑に進むよう試みた。加えて、瀬戸川水系の各関係機関の役割分担や今後のナガエツルノゲイトウの対策の方針などを確認し合うための連絡会（2026年2月2日）を設けた。

#### (4) ナガエツルノゲイトウ駆除の目標の達成状況

目標値の達成状況としては、瀬戸川下流域（寛政池より下流）は50%駆除、寛政池は100%駆除、瀬戸川上流域の清水川（寛政池より上流）は69%駆除で、寛政池では100%駆除の目標が達成されたが、その他では達成されなかった。しかしながら、瀬戸川上流域の清水川では、目標は達成されなかったものの、前述したように刈取量は激減しており、寛政池含めた上流部での分布状況は概ね収束にむかっている。

### 5.3.3 瀬戸川のアカミミガメの誘引罠 CPT の変化及び目標達成状況（年ごと）

瀬戸川下流部に位置する明石市域と上流部に位置する神戸市域それぞれについての傾向

をみるために、防除開始年からのアカミミガメの捕獲個体数と誘引罠 CPT について年ごとの変化を図 5.3.3b に示した。なお、各年の捕獲努力量（誘引罠の設置数）を図 5.3.3a に示す。2025 年度、下流部（明石市域）及び上流部（神戸市域）で目標値を達成した。5.3.1 の 2025 年度の捕獲実績等を踏まえると、上流域（神戸市域）のアカミミガメ目視個体数は増加していることから、上流域の捕獲を強化しつつ、引き続き複数の捕獲手法を併用しながら防除を継続していきたい。

#### 5.4 瀬戸川流域における今後の方針

- ・引き続き、事前調査を行いつつ、複数の捕獲方法を用いながら低密度維持を目指し、市民参加の持続可能な体制を模索しながら、防除を継続していく。
- ・ナガエツルノゲイトウの駆除に関しては、各関係機関と連携し、根絶を目指す。そのために、本協議会としては、新たな侵入地など早期発見や対策済区間の不備（防草シートの剥がれなど）を発見した際、関係各機関等に報告するとともに、それら状況を常時把握し、地図化した情報を各関係機関と共有する。また、各関係機関が集まり、情報共有や計画の見直し等のための連絡会を少なくとも年 1 回開催する。

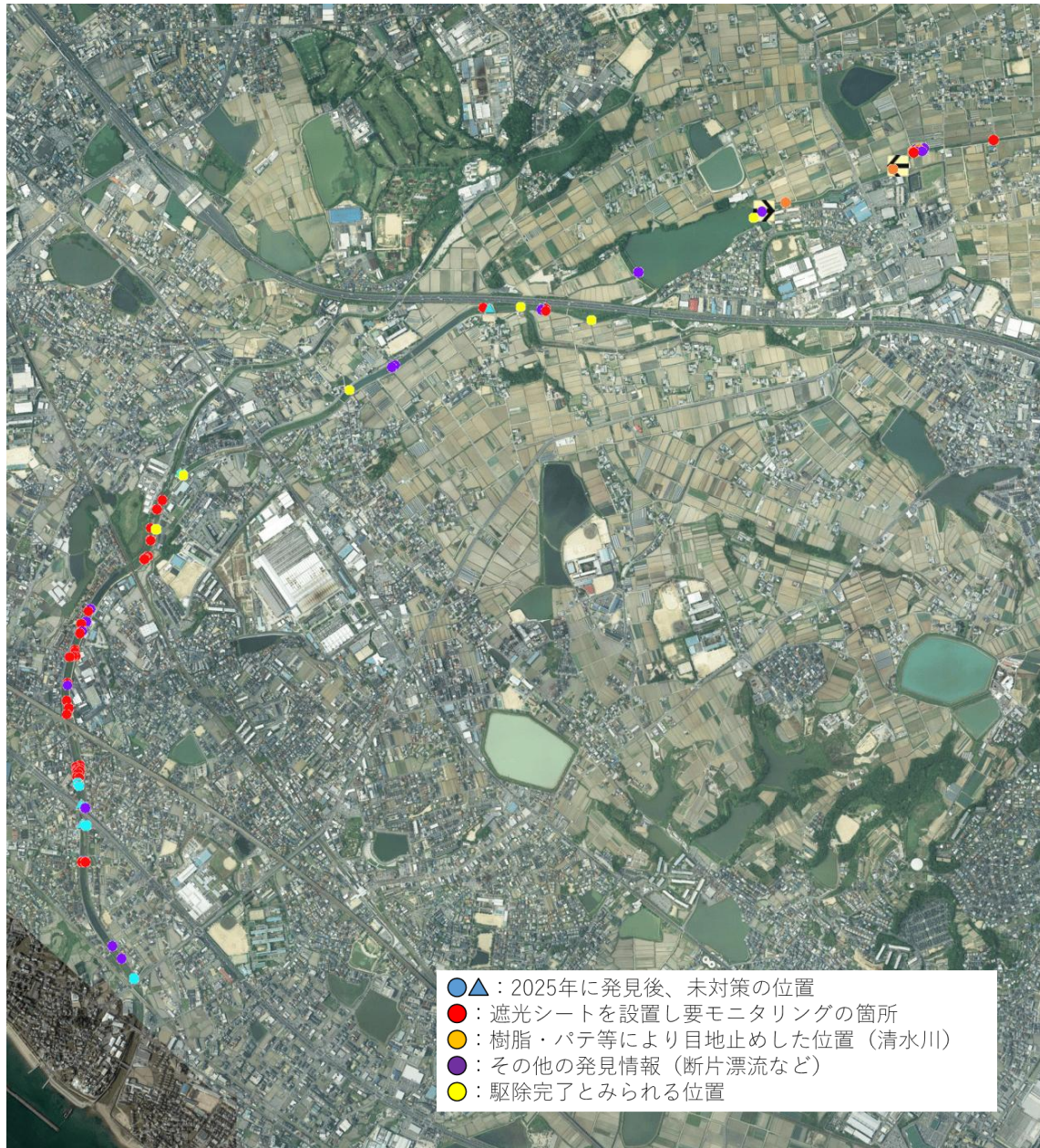


図 5.3.2 (3) 瀬戸川流域ナガエツルノゲイトウ確認位置（2026 年 3 月 9 日まで）

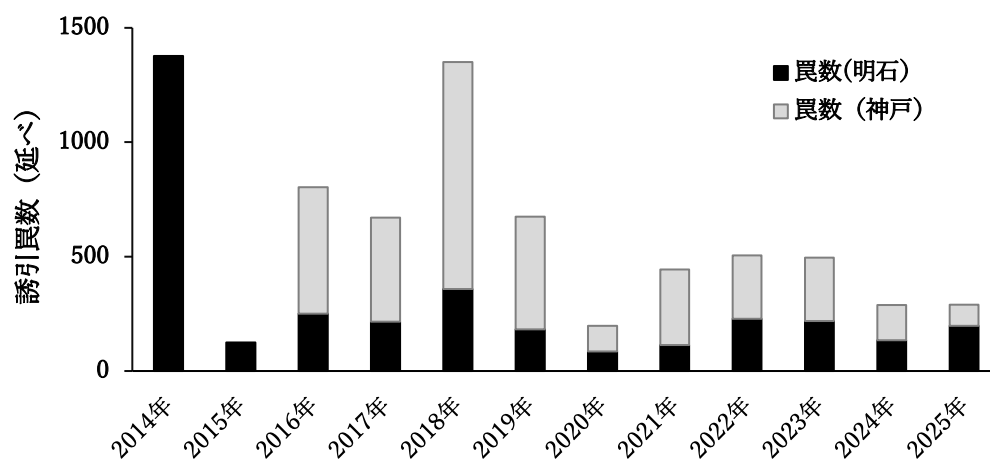


図 5.3.3a 瀬戸川のアカミミガメの誘引罾の設置数 (2014 年度から 2025 年度)

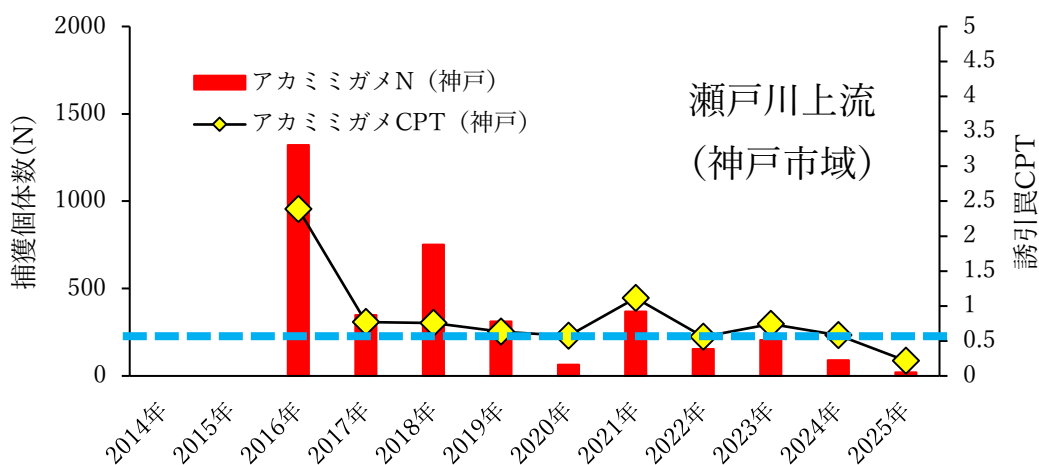
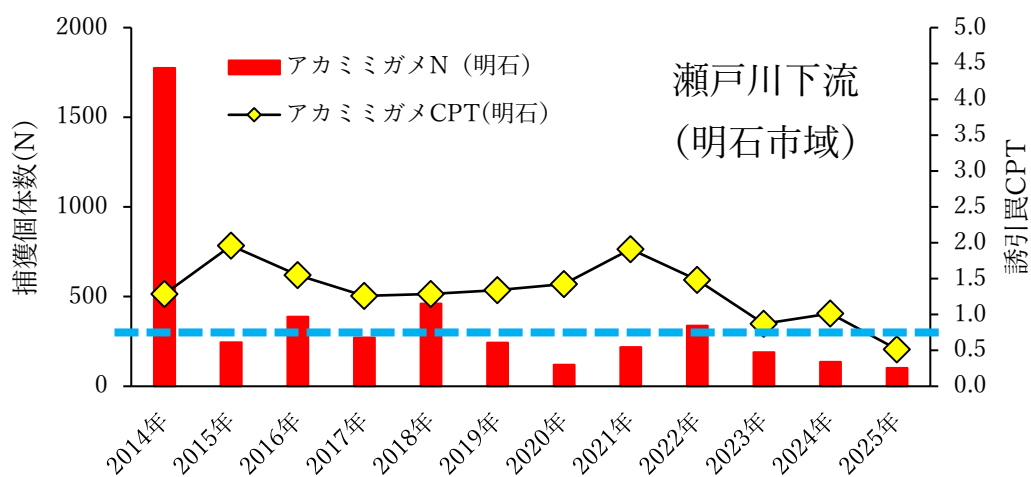


図 5.3.3b 瀬戸川のアカミミガメの捕獲個体数と誘引罾 CPT の変化 (年ごと)

青色の点線は 2025 年度の目標値を示す

## 6. 谷八木川及び周辺ため池でのアカミミガメ防除

### 6.1 谷八木川流域の概要と目標

谷八木川は兵庫県明石市中央部を流れる河川で、防除実施範囲とした河川区間は、明石市大久保町松陰地区の口無池の余水吐から、同市大久保町谷八木地区で瀬戸内海に開口する河口部までの河川長 4.6km である(図 6.1)。谷八木川流域内は多くの農業用ため池を有しており、農業用水として利用されている。これら流域内のため池のうち、防除実施範囲としたのは、アカミミガメの行動圏と推測される河川から 500m の範囲に位置する 24 箇所のため池である。これら谷八木川流域において、目標値の達成を目指し、アカミミガメの捕獲を実施した。

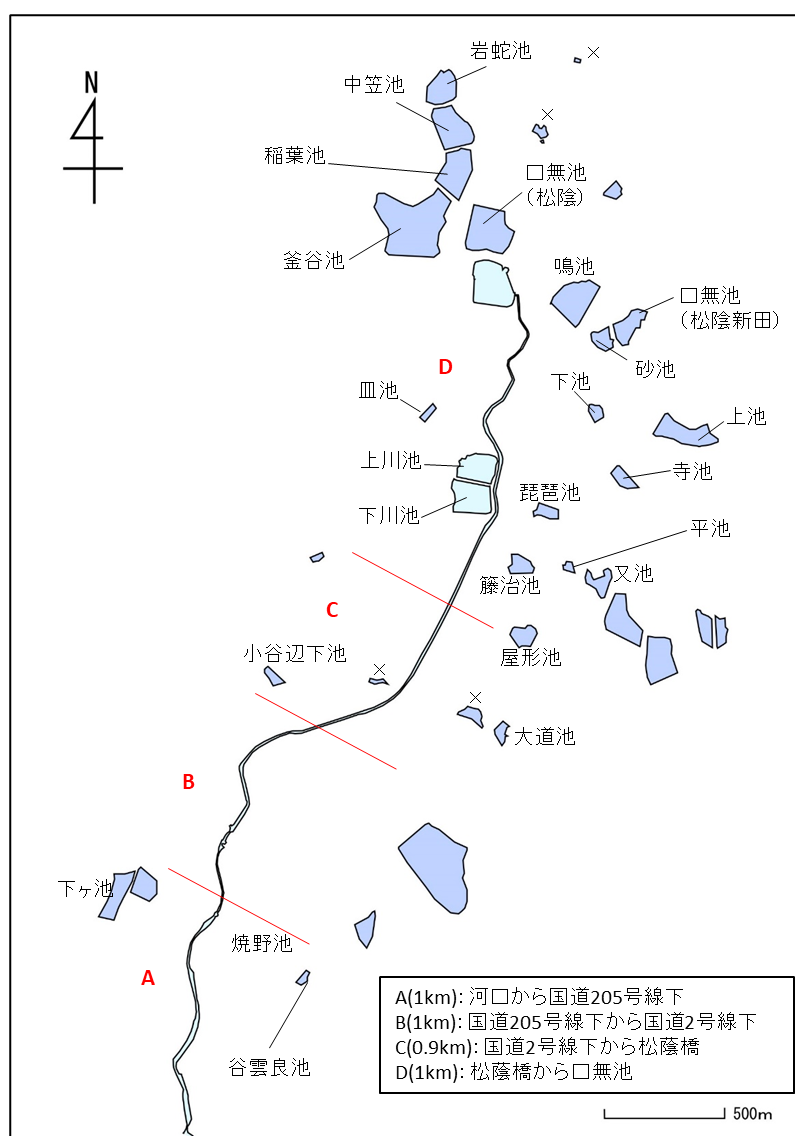


図 6.1 谷八木川とその周辺のため池、河川区間

## 6.2 実施内容

### 6.2.1 アカミミガメ防除対象区域（2025 年度）

2025 年度の谷八木川流域のアカミミガメ防除対象区域は、A から D の 4 つの河川区間に区分した全区間とした（図 6.1）。ため池は 24 箇所のうち（図 6.1）、岩蛇池、稲葉池、中笠池、下川池、小谷辺下池、焼野池、下ヶ池を除く 17 箇所とした。

### 6.2.2 アカミミガメ調査方法（2025 年度）

谷八木川では、近年、目標値（アカミミガメ誘引罟 CPT）が達成できていることから（図 6.2.2）、2025 年度は誘引罟による捕獲を行わず、手探りによる捕獲を中心に行った。手探りによる捕獲は 2025 年 11 月から 2026 年 3 月に計 5 回行った。事前調査として、瀬戸川同様（5.2.2 参照）、目視調査を 2025 年 7 月 13 日に実施した。谷八木川周辺のため池（17 箇所）では、日光浴罟による捕獲を過年度に引き続き行った。2025 年 4 月から 12 月の間に、ため池 1 箇所につき、9 回の捕獲個体の回収を行った。

表 6.2.2 谷八木川の全域を対象に行った誘引罟による捕獲の捕獲努力量

|   | 実施年  |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
|---|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|   | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 |
| a | 1447 | 219  | 127  | 51   | 60   | 113  | 114  | 58   | 59   | 57   | 58   | 61   | 0    |
| b | 21   | 3    | 2    | 1    | 1    | 2    | 2    | 1    | 1    | 1    | 1    | 1    | 0    |

a：誘引罟設置延べ数 b：回収回数

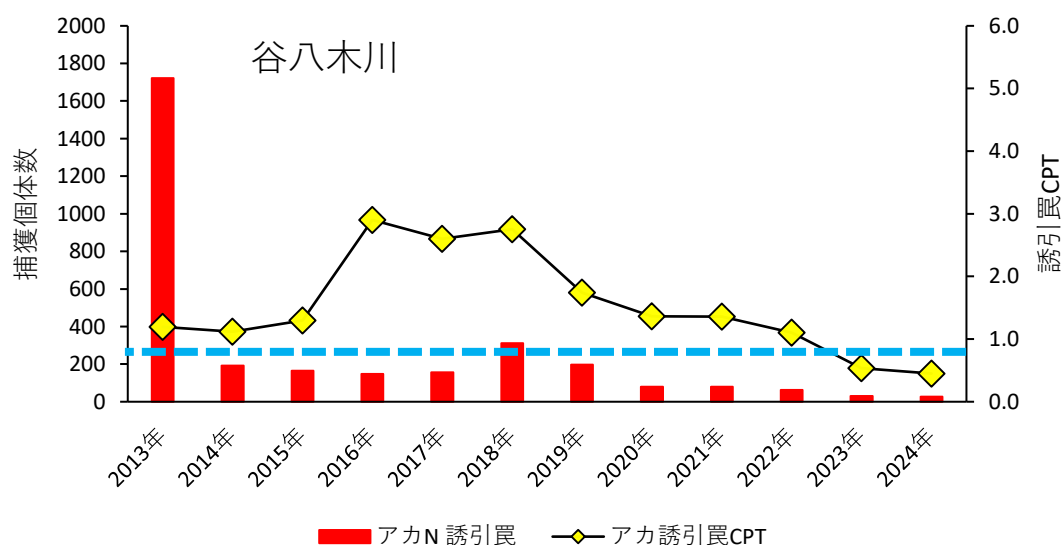


図 6.2.2 谷八木川におけるアカミミガメの捕獲個体数と誘引罟 CPT の変化（年ごと）

※水色の点線は 2025 年度目標値（誘引罟 CPT0.8）を示す

6.2.3 アカミミガメ捕獲方法（2013 年度から 2024 年度）

谷八木川流域のアカミミガメ防除は、2013 年より開始され、2013 年は河川全域を防除実施範囲として、誘引罟による集中捕獲を実施し、2014 年以降は同範囲で年に 1～3 回の同罟による捕獲を実施してきた。2018 年から 2019 年は、河川全域に加え、流域内のため池（河川周囲 500m以内に位置するのため池）を防除実施範囲に設定し、河川全域は誘引罟による捕獲を、ため池は誘引罟及び日光浴罟による捕獲を実施した。2020 年以降は、谷八木川では全域を対象に年 1 回の誘引罟による捕獲を実施し、また、谷八木川流域内のため池では、2018 年に設置した日光浴罟による捕獲を継続して実施した。さらに、2023 年度以降は谷八木川内では手探りによる捕獲も行っている。谷八木川の全域を対象に行った各年度の誘引罟による捕獲の努力量等を表 6.2.2 に示す。

6.3 谷八木川流域におけるアカミミガメの防除の成果

6.3.1 アカミミガメ捕獲実績（2025 年度）

2025 年度は、280 匹（2024 年度の 2%減）のアカミミガメを捕獲した。各捕獲手法のアカミミガメを含めた淡水ガメの捕獲個体数の内訳を表 6.3.1 に示す。

表 6.3.1 谷八木流域の各捕獲手法の淡水ガメの捕獲個体数と目視個体数（2025 年度）

|             |       | 目視個体数  |      |      |      |     | 割合     |      |   |   |   |
|-------------|-------|--------|------|------|------|-----|--------|------|---|---|---|
|             |       | アカミミガメ | クサガメ | ■    | スッポン | その他 | アカミミガメ | ■    | ■ | ■ | ■ |
| 目視個体数       |       | 66     | 25   | ■    | 6    | 0   | 68.0   | ■    | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減 |       | 11     | 13   | ■    | 2    | 0   |        |      |   |   |   |
|             | 捕獲努力量 | 捕獲個体数  |      |      |      |     | 割合     |      |   |   |   |
|             |       | アカミミガメ | クサガメ | ■    | スッポン | その他 | アカミミガメ | ■    | ■ | ■ | ■ |
| 誘引罟         | 延べ罟数  | 0      | 0    | ■    | 0    | 0   | -      | ■    | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減 |       | -61    | -27  | -115 | ■    | -12 | 0      |      |   |   |   |
| 日光浴罟        | 点検回数  | 153    | 221  | 61   | ■    | 0   | 0      | 78.1 | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減 |       | -37    | 39   | 11   | ■    | 0   | 0      |      |   |   |   |
| 手探り         | 捕獲回数  | 5      | 59   | 48   | ■    | 3   | 1      | 53.2 | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減 |       | -2     | -18  | 8    | ■    | 3   | 1      |      |   |   |   |
| 合計          |       | 280    | 109  | ■    | 3    | 1   | 71.1   | ■    | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減 |       | -6     | -96  | ■    | -9   | 1   |        |      |   |   |   |

6.3.2 谷八木川で目視されるアカミミガメ個体数の変化（年ごと）

全域の目視調査では 66 匹（2024 年度から 17%増加）のアカミミガメを確認した。誘引罟による捕獲は行っていないが、例年 7 月に行っている目視調査の結果から、河川全域で目視されるアカミミガメ個体数は防除開始年（2013 年）から、激減し、近年は 50-60 匹と横ばい状態で、低密度を維持しているものと思われる。アカミミガメ目視個体数 50-60 匹

程度の状態から増加しないよう引き続き複数の捕獲手法を併用しながら防除を継続していきたい。

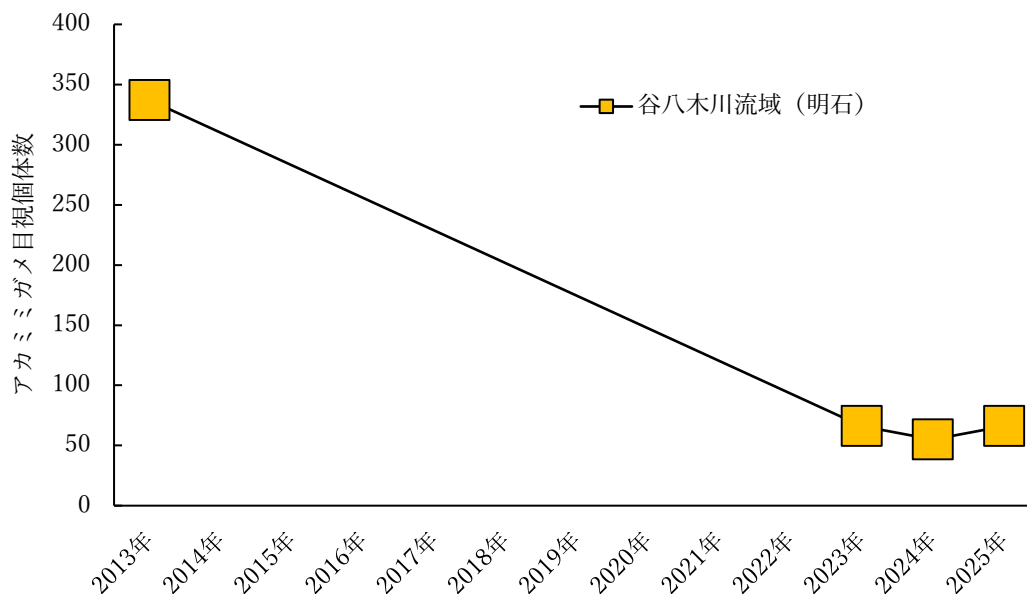


図 6.3.2 谷八木川で目視されるアカミミガメの個体数

※2023 年から 2025 年の目視調査は 7 月に実施し、2013 年は 5 月に実施

#### 6.4 谷八木川流域における今後の捕獲方法等の方針

・引き続き、事前調査を行いつつ、複数の捕獲方法を用いながら低密度維持を目指し、市民参加の持続可能な体制を模索しながら、防除を継続していく。

## 7. 赤根川流域におけるアカミミガメ防除

### 7.1 赤根川流域の概要と目標

赤根川は、明石市中部を流れ、瀬戸内海に開口する河川距離約 4.3 km の河川である（図 2）。調査範囲としたのは、大久保町江井ヶ島の河口から大久保町西脇の国道 2 号線下までの約 2.5km である。これら対象区域で目標値の達成を目指し、アカミミガメの捕獲を実施した。

### 7.2 調査内容

#### 7.2.1 アカミミガメ調査方法（2025 年度）

2025 年度は、赤根川では、誘引罟と手探りによる捕獲を行った。誘引罟は、2025 年 6 月 19 日に延べ 49 個設置し、翌日 6 月 20 日に回収し、捕獲個体を確認した（回収 1 回）。手探りによる捕獲は、河川区間の一部を対象に、2025 年 11 月から 2026 年 3 月に計 8 回行った。事前調査として、瀬戸川、谷八木川同様（5.5.2 参照）、目視調査を 2025 年 6 月 18 日に実施した。

#### 7.2.2 過年度の捕獲方法

赤根川のアカミミガメ防除は、2015 年に開始され、誘引罟による集中捕獲が実施された。その後 2016 年と 2017 年は同範囲で年に 1 回の同罟による捕獲が実施された。この間、赤根川周囲に位置するため池（5 箇所）も防除対象で、河川同様の捕獲が行われた。他河川と優先順を検討した結果、2018 年以降の捕獲は中断していた。2022 年度に防除を再開し、2022 年度から 2023 年度は各 1 回の誘引罟による捕獲を実施している。2024 年以降は手探りを中心に捕獲を実施している。

### 7.3 赤根川におけるアカミミガメの防除の成果

#### 7.3.1 アカミミガメ捕獲実績と目視調査結果（2025 年度）

2025 年度は、221 匹（2024 年度の 24% 増）のアカミミガメを捕獲した。各捕獲手法のアカミミガメを含めた淡水ガメの捕獲個体数の内訳を表 7.3.1 に示す。全域の目視調査では 109 匹（2024 年度から 46% 減）のアカミミガメを確認した。

#### 7.3.2 赤根川のアカミミガメの誘引罟 CPT の変化及び目標達成状況（年ごと）

赤根川の全域を対象に行った誘引罟による捕獲のデータから、各年度のアカミミガメ誘引罟 CPT を図 7.3.2a に示す。2025 年度のアカミミガメ誘引罟 CPT は 1.90 と、2022 年度に防除を再開して以降、徐々に低下しているものの、目標値（誘引罟 CPT 1.0 未満）の達成に至っていない。一方、目視調査の結果からは、防除開始年（2015 年）から激減し、近年は 100-200 匹を推移している（図 7.3.2b）。一度防除を中断したら、谷八木川のように年に一度の誘引罟による捕獲では、目標値の達成は困難であると思われる。引き続き目標値の達成を目指し、複数の捕獲手法を併用しながら防除を継続していく。

表 7.3.1 赤根川流域の各捕獲手法の淡水ガメの捕獲個体数と目視個体数（2025 年度）

|             |  | 目視個体数  |      |   |      |     | 割合     |   |   |   |   |
|-------------|--|--------|------|---|------|-----|--------|---|---|---|---|
|             |  | アカミミガメ | クサガメ | ■ | スッポン | その他 | アカミミガメ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 目視個体数       |  | 109    | 11   | ■ | 3    | 0   | 88.6   | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減 |  | -51    | 10   | ■ | 0    | 0   |        |   |   |   |   |

|             | 捕獲努力量   | 捕獲個体数  |      |   |      |     | 割合     |   |   |   |   |
|-------------|---------|--------|------|---|------|-----|--------|---|---|---|---|
|             |         | アカミミガメ | クサガメ | ■ | スッポン | その他 | アカミミガメ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 誘引罟         | 延べ罟数 49 | 93     | 57   | ■ | 13   | 0   | 56.4   | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減 |         | -      | -    | ■ | -    | -   |        |   |   |   |   |
| 日光浴罟        | 点検回数 -  | -      | -    | ■ | -    | -   | -      | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減 |         | -      | -    | ■ | -    | -   |        |   |   |   |   |
| 手探り         | 捕獲回数 5  | 128    | 45   | ■ | 2    | 0   | 71.1   | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減 |         | -6     | -41  | ■ | 2    | 0   |        |   |   |   |   |
| 合計          |         | 221    | 102  | ■ | 15   | 0   | 64.1   | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減 |         | 52     | 63   | ■ | 15   | 0   |        |   |   |   |   |

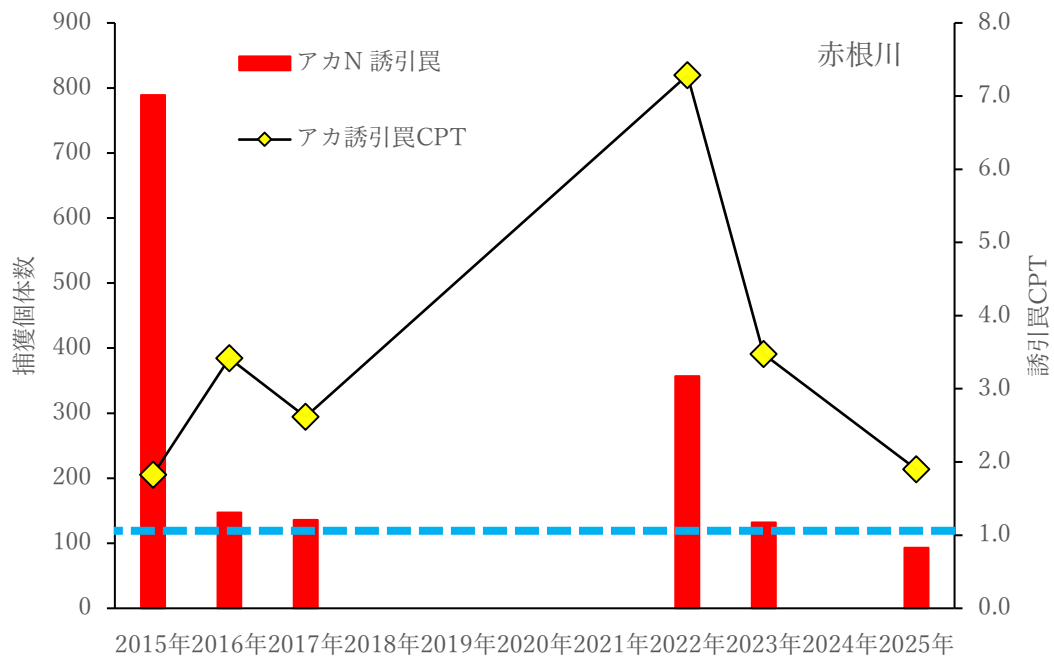


図 7.3.2 赤根川におけるアカミミガメの捕獲個体数と誘引罟 CPT の変化（年ごと）

※水色の点線は 2025 年度目標値（誘引罟 CPT1.0）を示す

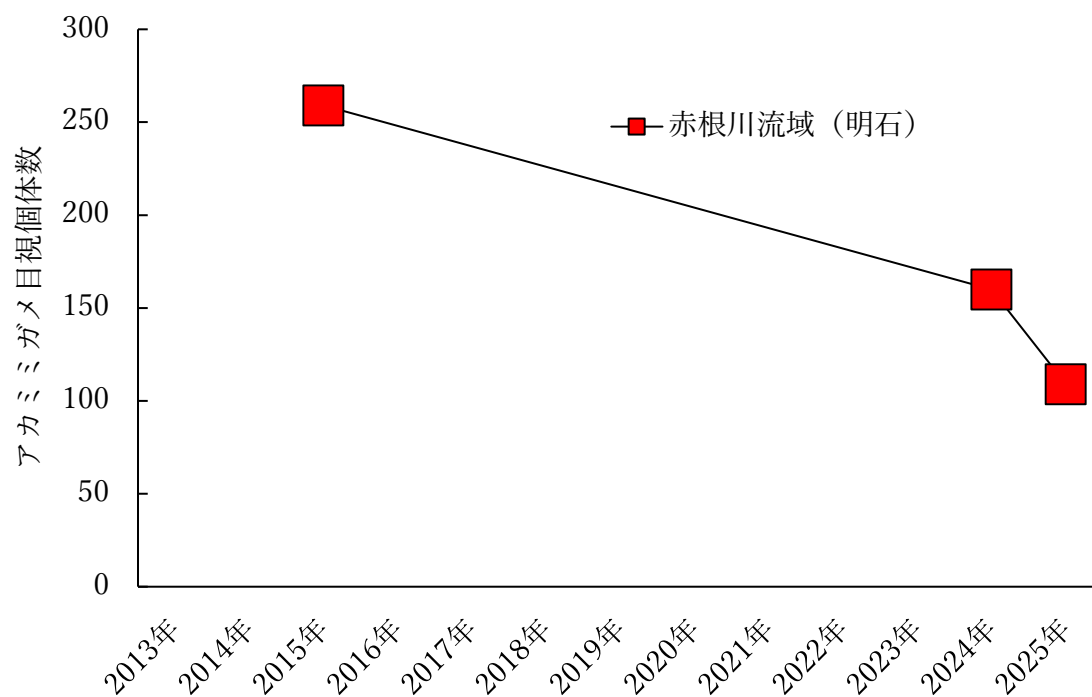


図 7.3.2 赤根川で目視されるアカミガメの個体数（年ごと）

※2015 年、2025 年の目視調査は 6 月に実施し、2024 年は 5 月に実施

#### 7.4 赤根川流域における今後の捕獲方法等の方針

- ・引き続き、事前調査を行いつつ、複数の捕獲方法を用いながら低密度維持を目指し、市民参加の持続可能な体制を模索しながら、防除を継続していく。

## 8. 明石川流域における取り組み

### 8.1 明石川の概要と背景

明石川は、瀬戸内海に開口する河川で、河口部付近のみ明石市域となっており、その上流部は神戸市域を流れる。本河川は、神戸市北区山田町藍那に端を発し、神戸市西区玉津町で伊川、櫛谷川と合流する。河川長は、明石川本流（約 23 km）、伊川支流（約 14 km）、櫛谷川支流（約 12 km）の約 49km である（図 2）。防除エリア 2 近辺では、2022 年度以降、河川改修の工事が進行している。

本河川は、2017 年に明石川全域を対象とした淡水ガメ生息実態調査により（2017 年度明石神戸アカミミガメ対策協議会報告書参照）、クサガメが優占し、次いでアカミミガメが多く生息することが明らかとなっている。また、[redacted]されている [redacted]されており、明石川水系は [redacted]と考えられる。一方で、本河川で優占するクサガメの存在は、[redacted]することから、[redacted]を招くことが懸念されている。明石川では [redacted]を防止するため、アカミミガメの防除と同時にクサガメ対策も検討してきた。

### 8.2 防除エリアでのアカミミガメ防除の実施

#### 8.2.1 防除エリアと目標値

アカミミガメの防除実施範囲は、[redacted]、明石川水系内の 3 つの防除エリア（防除エリア 1、防除エリア 2、防除エリア 3）である（図 2）。これら防除対象区域において、目標達成に向けてアカミミガメ防除を実施した。[redacted]

#### 8.2.2 アカミミガメ捕獲方法（2025 年度）

捕獲は、誘引罟と手探りによる捕獲を行った。誘引罟による捕獲は、防除エリア 1 と 3 は、それぞれ述べ 30 個の誘引罟を 2025 年 6 月 4 日から 6 日に設置し行った。誘引罟は 2 日連続で設置し、設置した翌日と翌々日に回収して捕獲個体の確認を行った（回収 2 回）。防除エリア 2 は河川工事が進行しているため、誘引罟による捕獲は行わなかった。手探りによる捕獲は 2025 年 11 月から 2026 年 3 月にかけて、全防除エリアで各 1 回計 3 回行った。

#### 8.2.3 過年度のアカミミガメ捕獲方法

防除エリア 1 及び 2 は、2017 年に本協議会による明石川全域の生息実態調査により、[redacted]、2018 年から防除を開始している。以降、夏または秋に年 2～6 回の連続の誘引罟による捕獲を行ってきた。防除エリア 3 は、2019 年度の神戸市の事業により [redacted]、2020 年から防除を開始している。秋に年 2 回の連続の誘引罟による捕獲を行ってきた。手探り捕獲

は、2022 年度以降、エリア 2 で実施し、2024 年度以降はいずれのエリアでも実施している。  
各年度の誘引罟による捕獲の努力量等を表 8.2.3 に示す。

表 8.2.3 明石川の防除エリア別の誘引罟による捕獲の捕獲努力量

|          |              | 2018 年 | 2019 年 | 2020 年 | 2021 年 | 2022 年 | 2023 年 | 2024 年 | 2025 年 |
|----------|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| エリア<br>1 | 誘引罟設置<br>延べ数 | 215    | 142    | 72     | 72     | 70     | 72     | 74     | 30     |
|          | 回収回数         | 6      | 4      | 2      | 2      | 2      | 2      | 2      | 2      |
| エリア<br>2 | 誘引罟設置<br>延べ数 | 336    | 168    | 84     | 84     | 82     | 82     | 80     | 0      |
|          | 回収回数         | 6      | 4      | 2      | 2      | 2      | 2      | 2      | 0      |
| エリア<br>3 | 誘引罟設置<br>延べ数 | -      | -      | 30     | 30     | 30     | 30     | 30     | 30     |
|          | 回収回数         | -      | -      | 2      | 2      | 2      | 2      | 2      | 2      |

#### 8.2.4 アカミミガメ捕獲実績 (2025 年度)

2025 年度は、3 つエリアで誘引罟と手探りによる捕獲で、の淡水ガメを捕獲し、内訳はアカミミガメ 8 匹、クサガメ 3 匹を捕獲した。アカミミガメを含めた淡水ガメの捕獲個体数の内訳（捕獲方法別）を表 8.3.1 に示す。

#### 8.2.5 アカミミガメ捕獲実績 (過年度から 2024 年度)

各年度のアカミミガメを防除エリアごとに図 8.3.2 に示す。  
2025 年度は、いずれのエリア（防除エリア 1 と 3）も目標値（CPT0）を達成することができなかったが、いずれも CPT0.03 と近年においては低い値を推移しており、低密度管理はできているものと思われる。ただ、連続的に CPT ゼロにすることは困難であることも示された。

### 8.3 明石川全域での淡水ガメ捕獲調査の実施

#### 8.3.1 2017 年時と同一手法による捕獲調査

明石川での防除エリアの再検討をしていくために、全域捕獲調査を実施した。捕獲調査は、2017 年時に行った内容と可能な限り同一に行った。捕獲は、2025 年 9 月 14 日から 16 日（2017 年は 9 月 19 日から 20 日に実施）にかけて行った。罟は 2017 年に使用したものと同一誘引罟合計 100 個（2017 年は合計 96 個）を、2017 年と概ね同様の地点に設置し行った。調査対象範囲は、明石川本流（約 23 km）、伊川支流（約 14 km）、櫛谷川支流（約 12 km）

で、罠設置地点を▲で示した（図 8.3.1）。

表 8.3.1 明石川の各エリアで捕獲された淡水ガメ個体数と割合（捕獲方法別、2025 年度）

|                 | 捕獲努力量 |     | 捕獲個体数  |      |   |      |     | 割合     |   |   |   |   |
|-----------------|-------|-----|--------|------|---|------|-----|--------|---|---|---|---|
|                 |       |     | アカミミガメ | クサガメ | ■ | スッポン | その他 | アカミミガメ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 伊川エリア 1 誘引罠     | 延べ罠数  | 30  | 1      | 1    | ■ | 0    | 0   | 50.0   | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減     |       | -44 | -1     | -2   | ■ | -1   | -1  |        |   |   |   |   |
| 手探り             | 捕獲回数  | 1   | 0      | 0    | ■ | 0    | 0   | -      | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減     |       | -1  | -1     | 0    | ■ | 0    | 0   |        |   |   |   |   |
| 計               |       |     | 1      | 1    | ■ | 0    | 0   | 50.0   | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減     |       |     | -2     | -2   | ■ | -1   | -1  |        |   |   |   |   |
| 樋谷・友清川エリア 2 誘引罠 | 延べ罠数  | 0   | 0      | 0    | ■ | 0    | 0   | -      | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減     |       | -80 | -4     | 0    | ■ | 0    | 0   |        |   |   |   |   |
| 手探り             | 捕獲回数  | 1   | 4      | 1    | ■ | 0    | 0   | 80.0   | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減     |       | -2  | 2      | 1    | ■ | 0    | 0   |        |   |   |   |   |
| 計               |       |     | 4      | 1    | ■ | 0    | 0   | 80.0   | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減     |       |     | -2     | 1    | ■ | 0    | 0   |        |   |   |   |   |
| 明石川エリア 3 誘引罠    | 延べ罠数  | 30  | 1      | 0    | ■ | 0    | 0   | 50.0   | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減     |       | 0   | 0      | 0    | ■ | 0    | 0   |        |   |   |   |   |
| 手探り             | 捕獲回数  | 1   | 2      | 1    | ■ | 0    | 0   | 50.0   | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減     |       | 0   | 2      | 1    | ■ | 0    | 0   |        |   |   |   |   |
| 計               |       |     | 3      | 1    | ■ | 0    | 0   | 50.0   | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減     |       |     | 2      | 1    | ■ | 0    | 0   |        |   |   |   |   |
| 合計              |       |     | 8      | 3    | ■ | 0    | 0   | 61.5   | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 2024年度からの増減     |       |     | -2     | 0    | ■ | -1   | -1  |        |   |   |   |   |



図 8.3.1 明石川全域捕獲調査において誘引罠を設置した地点（▲）

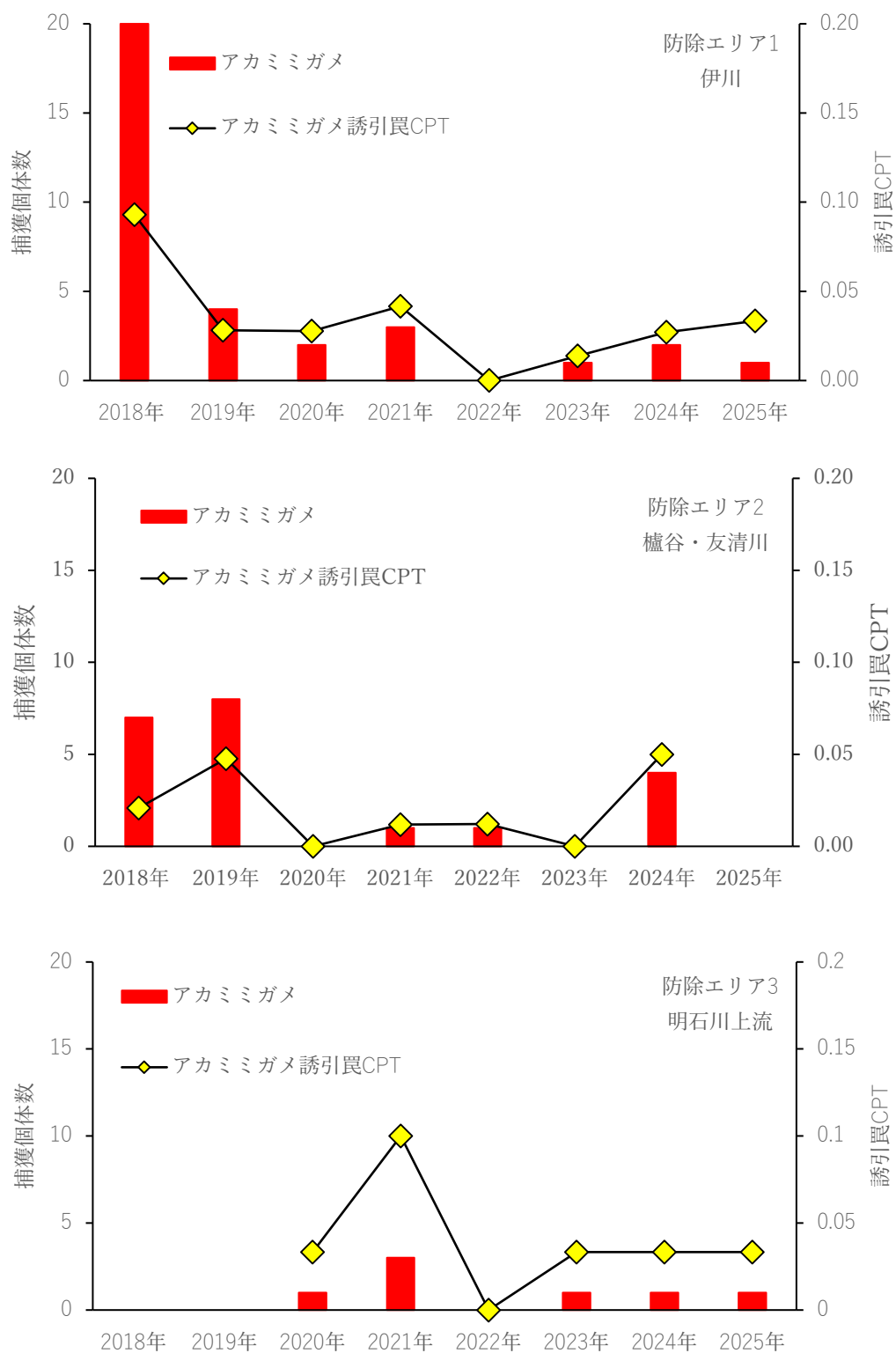


図 8.3.2 明石川内の防除エリアごとのアカミミガメ捕獲個体数と誘引罾 CPT

### 8.3.2 種構成、CPT

合計 100 個の誘引罠により、合計 201 個体（2017 年時合計 242 個体）の淡水ガメを捕獲した。そのうち最も多く捕獲されたのは、アカミミガメの 116 個体（2017 年時 71 個体）で、次いでクサガメ 47 個体（2017 年時 144 個体）、スッポン 33 個体（2017 年時 15 個体）であった。また、その他にクーターカメ属の個体が 1 個体捕獲された。2017 年にはクサガメが優占していたが、2025 年はアカミミガメが優占しており、8 年で優占種の変化がみとめられた(図 8.3.2a)。

量的な指標となる 1 誘引罠あたりに捕獲される個体数（CPT）は、2017 年から 2025 年の変化をみると(図 8.3.2b)、クサガメは 1.50 から 0.47、アカミミガメは 0.74 から 1.16、スッポン 0.16 から 0.33、となった。クサガメは減少、アカミミガメとスッポンは増加傾向を示した。



図 8.3.2a 淡水ガメ種構成（2017 年と 2025 年）

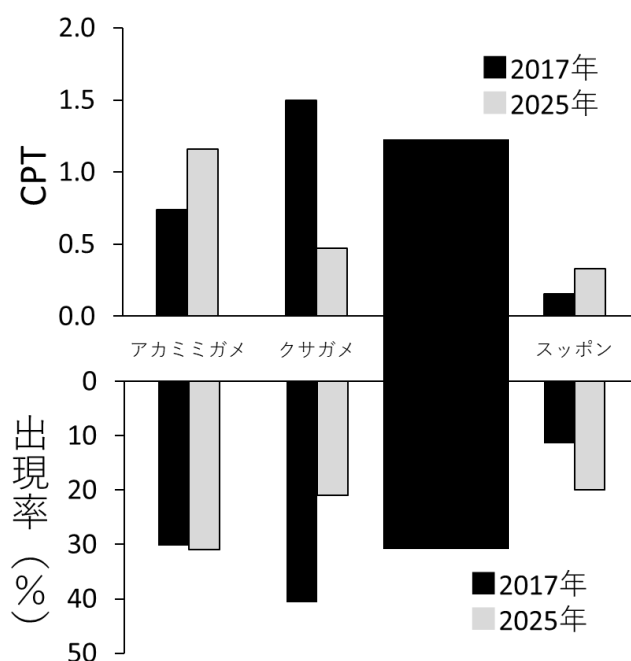


図 8.3.2b 種ごとの CPT と出現率(2017 年と 2025 年)  
CPT: 誘引罠あたりに捕獲される個体数 出現率: 誘引罠を設置した地点のうち、各種が捕獲された地点数の割合

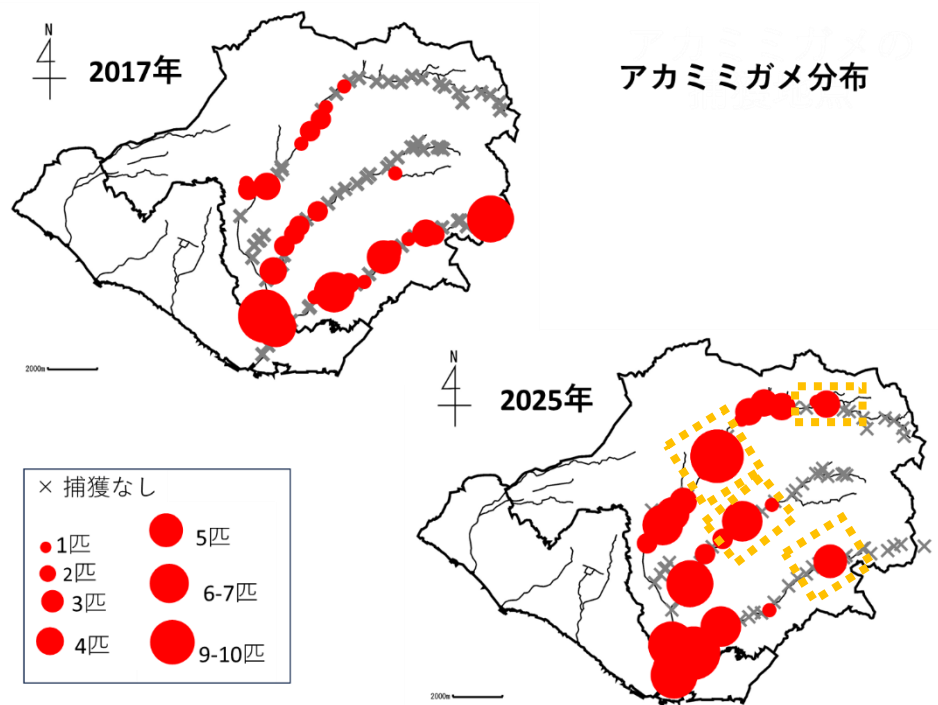


図 8.3. 3 各種の分布地点（2017 年と 2025 年）アカミミガメ分布の破線は 8.4 での捕獲実施範囲を示す

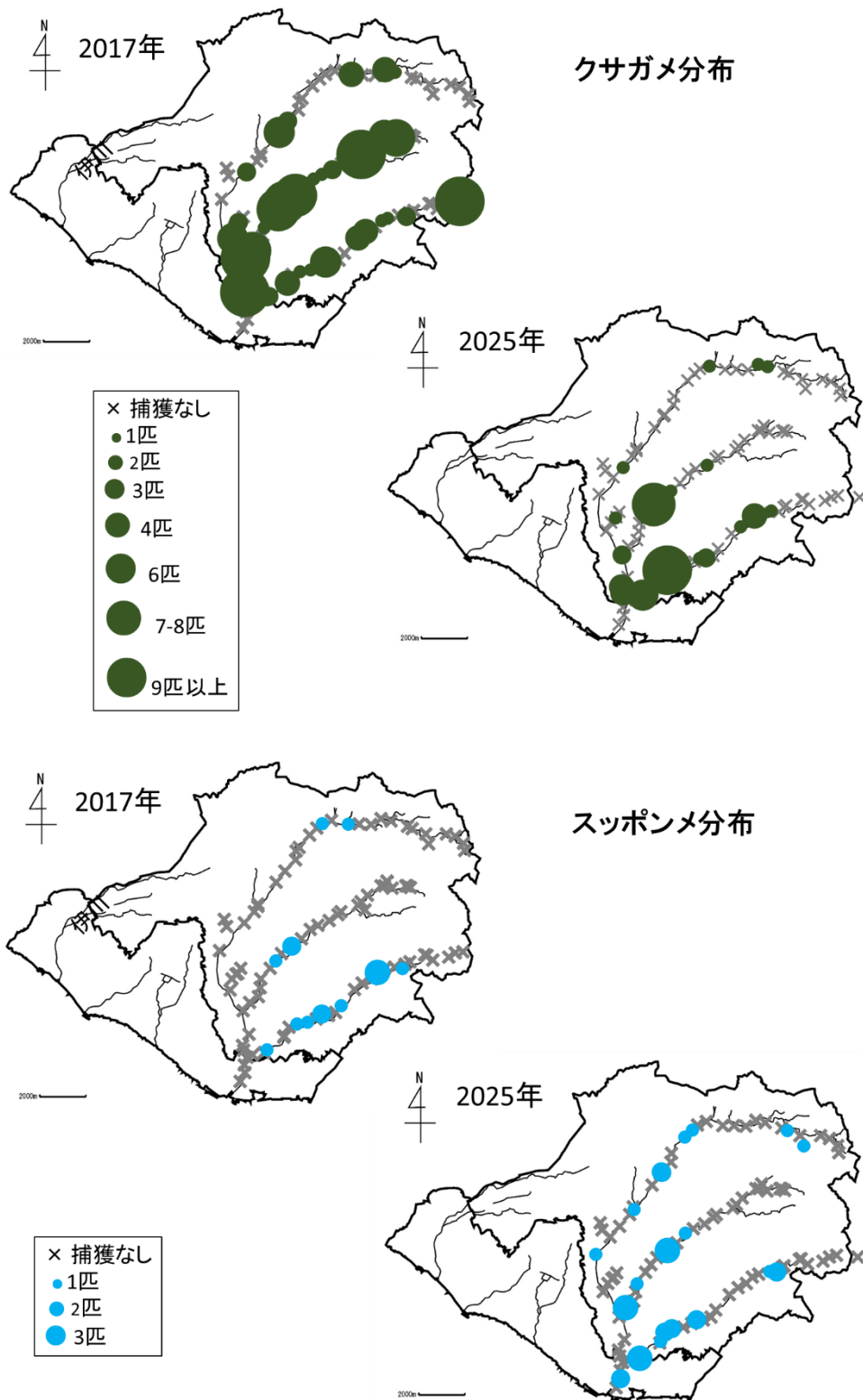


図 8.3.3 各種の分布地点 (2017 年と 2025 年)

### 8.3.3 種ごとの分布域の変化

分布域の指標として、設置した誘引罠のうち何個の罠でカメが捕獲されたのかを出現率として算出すると、アカミミガメ 31%、XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXであった。2017 年はアカミミガメ 30%、XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXであったことから、スッポンの大幅な分布域の拡大、クサガメの大幅な分布域の縮小が認められた（図 8.3.2b）。種ごとの確認地点を図 8.3.3 に示すと、アカミミガメは防除エリアに設定していた上流域での生息は比較的にみられないが、明石川本流の上流から中流域での分布拡大と密度の増加が激しい。クサガメは、下流域では多く分布するが、中流から上流域にかけての減少がみられる。スッポンは、2017 年は伊川に分布が偏っていたが、現在は全域の分布する傾向を示した。XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

### 8.4 明石川のアカミミガメ防除範囲の拡大の試み

上述した結果（8.2 と 8.3）をうけて、アカミミガメが相対的に多く捕獲された最上流部の地点を中心に（図 8.3.3）、別途手探り捕獲を 2025 年 11 月から 2026 年 3 月にかけて計 5 回行い、97 匹のアカミミガメを捕獲した（2026 年 3 月 10 日まで）。

### 8.5 明石川流域での今後の方針

- ・ 防除エリアに設定した 3 つの区間でのモニタリングは継続しつつ、明石川での防除エリアを拡大させる。
- ・ アカミミガメ以外のXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX悪影響のある外来生物（アライグマによる食害、クサガメとの交雑など）の対策や、生息地の保全に関しても、対策が進められるように検討をしていくとともに、調査を継続する

## 9. 市民による防除活動の推進

### 9.1 普及・啓発活動

#### 9.1.1 小学校を対象とした出前授業の実施

明石及び神戸市内で、講師を派遣し、実物のカメを観察しながら、身近なカメの見分け方や外来種問題について出前授業を行った。復習のために2019年（令和元年）に本協議会が作成した市民向けのマニュアルである「誰でもできるアカミミガメ防除」も配布した。

##### ・神戸市立小学校を対象とした出前授業

神戸市内では、出前授業の実施を知らせるチラシを作成し、神戸市内の公立小学校を対象に参加校を募集した。神戸市内の5校の公立小学校から希望があった（2024年度は7校）。小学1年生から3生の児童合計187名（2024年度227名）に出前授業を行った。このうち、1校2名の児童が後述する「はじめての川活」に参加し、外来種対策参加に繋がる一定の効果を得ることができた。なお、今年度、中学校にも同様に募集したが、希望校はなかった。

##### ・明石市内での出前授業

明石市内では、2件の放課後児童クラブ（2024年度5件）と5校（2024年度2校）の公立小学校から要望があり、出前授業を行った。小学1年生から6生の児童合計914名（2024年度1245名）に出前授業を行った。

##### ・過年度の出前授業実施校の推移

各市で希望校の募集方法等は異なるものの、積極的に参加校の募集を開始した2022年度以降は概ね毎年10校程度の出前授業を実施している（図9.1.1）。

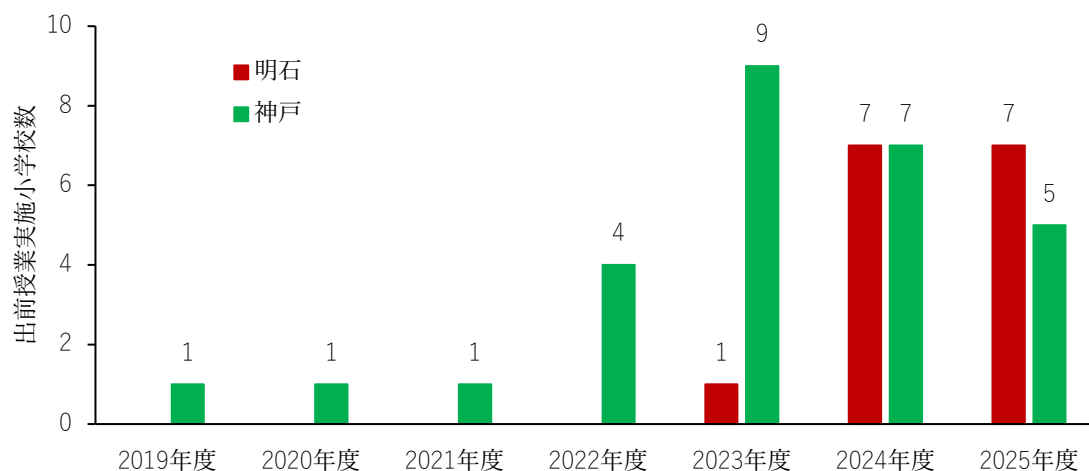


図 9.1.1 明石市及び神戸市での出前授業実施校の推移

### 9.1.2 成果報告会・捕獲体験会「はじめての川活」の開催

これまでの本協議会の成果を報告するとともに、市民に外来種対策を体験していただく催し「はじめての川活」を開催した。明石市及び神戸市でそれぞれ 1 回ずつ、連続開催した。計 2 回で延べ 39 名（11/1 神戸市開催 16 名、11/15 明石市開催 23 名参加）の参加があった（図 9.1.2）。うち 28 名は新規参加者であった。座学を中心とした 11/1 は比較的年齢層が高い傾向がある一方で、現場体験を中心とした 11/15 は若年層が多く、保護者同伴にしたため親世代が加わり、比較的さまざまな年齢層からの参加がみられた。ただいずれも 30 代は少ない。

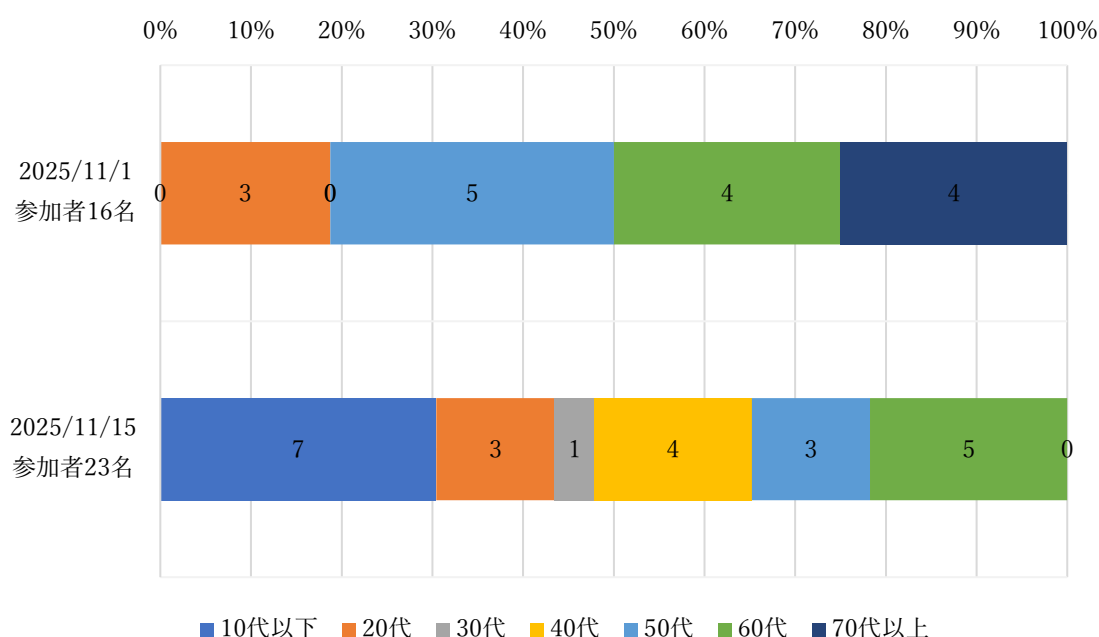


図 9.1.2 「はじめての川活」の参加者の年齢層

| 2025/11/1（土）開催<br>誰でもできる！外来種防除を学ぶ編<br>ショート動画 参加者 16 名                               | 2025/11/15（土）開催<br>〈現場で実践〉外来種をとる！アカミミガメ編<br>ショート動画 参加者 23 名                          |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |

# はじめての

**参加無料**

初見  
おひとり様  
親子でも

**11/1 (土)**

誰でもできる！  
**外来種防除を  
学ぶ 編**

後日  
番外編  
あるよ

**11/15 (土)**

<現場で実践>  
**外来種をとる！  
アカミミガメ 編**



主催 明石・神戸アカミミガメ対策協議会

## はじめての川活って？

明石市や神戸市にはアカミミガメやナガエツルノゲイトウなど様々な外来種が侵入し、多くの問題が引き起こされています。「明石・神戸アカミミガメ対策協議会」では防除等の対策を行っていますが、外来種対策には多くの方の助けが必要です。外来種の問題について理解し、現場での対策に関わってみませんか？「はじめての川活」では、皆さんが現場に関わるキッカケを提供します。はじめてでも、1人で参加しても大丈夫。みんなで力を合わせて、外来種問題を解決しよう！

外来種って？



なんで  
明石と神戸？



### 誰でもできる外来種防除の技術を学ぶ 編

2025年11月1日(土) 10~12時  
会場 外来生物展示センター会議室(神戸市長田区苅藻島町3-12-28)  
参加資格 どなたでも  
定員 60名(定員に達し次第募集終了)

- ✓ 協議会が行う外来種対策の成果について
- ✓ 野外調査での安全対策について
- ✓ ナガエツルノゲイトウ防除方法をレクチャー！
- ✓ レクチャー終了後にレクチャー修了ステッカーを配布！
- ✓ 外来生物展示センター 見学できます

11/1 14時から  
ナガエツルノゲイトウ対策の  
**現場の見学**  
できます  
〈自由参加〉

@神戸市西区岩岡町清水川  
県道384号線  
福吉交差点より北へ300m



**川活 かわかつ**  
お申込みはこちら！



### 現場で実践 外来種をとる！アカミミガメ 編

2025年11月15日(土) 10~12時  
集合場所 明石市立清水小学校コミュニティセンター  
参加資格 どなたでも(中学生以下は要保護者同伴)  
定員 20組(定員に達し次第募集終了)

- ✓ アカミミガメ対策の最前線の瀬戸川でカメ捕獲体験！
- ✓ 1番多くアカミミガメを捕まえた方には特典あります！



### <番外編>プロと実践 外来種対策の最前線！

「はじめての川活」を経験された方は、より本格的な外来種対策の現場にご案内します！  
詳しくは当日(11/1・11/15両日)お知らせします

### お問い合わせ

明石・神戸アカミミガメ対策協議会事務局 Tel 078-918-5786  
(明石市環境産業局環境室環境創造課内) E-mail plan-ems@city.akashi.lg.jp



繁殖するナガエツルノゲイトウ



川活には測長靴と手袋がいるよ  
※レンタルあります

「はじめての川活」告知のチラシ

2025/11/1（土）誰でもできる！外来種防除を学ぶ編 参加者 16 名

10：00～

はじめの挨拶

外来生物展示センター  
会議室



10：05～

成果報告と趣旨説明

外来生物展示センター  
会議室



10：25～

安全講習

外来生物展示センター  
会議室



10:40～

ナガエツルノゲイトウ

見分け方講座

外来生物展示センター

会議室



ナガエツルノゲイトウと

似た植物の標本作り

外来生物展示センター

会議室



11:20～

胴長靴履く体験

身体測定体験

外来生物展示センター

ビオトープ



12:00 終了

14:00～

ナガエツルノゲイトウ

刈取体験

(希望者のみ4名参加)

清水川



16:00 終了

2025/11/15（土）開催〈現場で実践〉外来種をとる！アカミミガメ編 参加者 23 名

10：00～

はじめの挨拶

10：05～

成果報告と趣旨説明



10：20～

グループ分け、準備、移動

10：45～

川活開始

瀬戸川



12：00 解散・終了

### 9.1.3 動画の配信

本協議会の取組みを紹介する YouTube チャンネルのショート動画や公式 SNS を作成し(9.1.2 と 9.2.1 を参照)、外来種問題に関して普及啓発を行った。

### 9.1.4 その他 普及啓発

ひょうご生物多様性シンポジウム(12/19 開催、主催：兵庫県、共催：明石市・神戸市)で取組紹介した。

## 9.2 市民参加型のアカミミガメ防除活動

### 9.2.1 外来種捕獲を実践的に行う「川活・池活」の定期開催

中長期的に外来種対策に携わっていただく市民を増やすために、本協議会で実施してきたアカミミガメの捕獲などの外来種対策を実践していただく機会(以下、川活・池活と呼ぶ)を計 11 回設けた。川活・池活は前述した「はじめての川活」の催し後(11 月以降)に定期的に行った。普及啓発活動を行った市民を主な対象に告知を行い、延べ 61 名の参加があった。各回の川活・池活の参加者を図 9.2.1 に示すと、2 回以上参加者が増え、リピーターが定着した(6 名は定期的に参加するリピーター)。

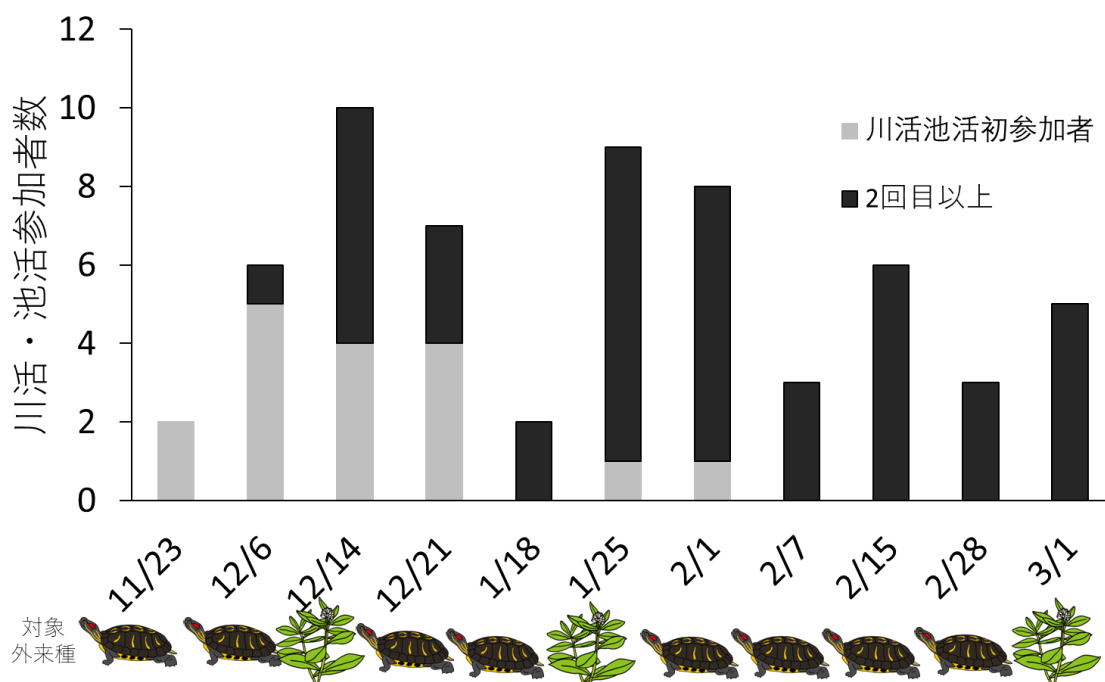


図 9.2.1 「川活・池活」ごとの参加者数

|                                                                                   |                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>2025/11/23 (日) 瀬戸川 (明石)</p> <p>はいつくばってアカミミガメ捕獲</p>                             | <p>2025/12/6 (土) 谷八木川 (明石)</p> <p>初心者向けアカミミガメ捕獲</p>                                |
|  |  |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p>2025/12/14 (日) 瀬戸川 (明石)</p> <p>緊急出動ナガエツルノゲイトウ駆除</p> <p>ショート動画</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |  |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>緊急出動 //</p> <p>12月14日(日) 9~12時</p> <p>ナガエツルノゲイトウ</p> <p>防除大作戦</p> <p><small>明石市東区瀬戸小学校前 瀬戸川</small></p> </div> </div> |  |

|                                                                                     |                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>2026/1/18 (日) 瀬戸川 (神戸)</p> <p>深場でアカミミガメ捕獲</p>                                    | <p>2026/1/25 (日) 瀬戸川 (明石)</p> <p>緊急出動ナガエツルノゲイトウ駆除その2</p>                             |
|  |  |

|                                                                                                                                   |                                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>2026/2/1（日）瀬戸川（神戸）<br/>越冬中のアカミミガメを集中的に捕獲</p>  | <p>2026/2/7（土）瀬戸川（明石）<br/>アカミミガメ捕獲と見分け方講座も</p>      |
| <p>2026/2/15（日）尻の池（明石）<br/>初めての池活 アカミミガメ捕獲</p>  | <p>2026/3/1（日）清水川（神戸）<br/>今年度ラスト ナガエツルノゲイトウ駆除</p>  |
| <p>2026/2/28（土）明石川（神戸）<br/>極寒の中のアカミミガメ捕獲</p>   | <p>2025/12/21（日）赤根川（明石）<br/>アカミミガメ捕獲 ショート動画</p>   |

### 9.2.2 日光浴罟の貸し出しによる市民参加型のアカミミガメ防除活動

7号池（西区岩岡町岩岡）と寺谷中池神戸市西区押部谷細田）では、日光浴罟を市民に貸し出し、2021年以降継続的にアカミミガメ防除が行われている。

### 9.3 市民による防除活動の推進の今後の方針

- ・人材発掘・育成には、イベント的に開催する「はじめての川活」とその後が続いて開催する「川活・池活」は効果的と思われ、今後も継続的かつ定期的に開催していく。
- ・「川活・池活」などの取組みは積極的に YouTube チャンネルによる動画配信するとともに、SNS などでも告知し一般市民の参加を促す。
- ・教育活動として行ってきた出前授業は小学校だけではなく、中学校や高等学校での実施を試みるとともに、より行動変容を引き起こすような授業内容の質の向上をすすめていく。
- ・ため池管理者講習会や補助金制度など、各市独自に行っている取組みと連携し、日光浴罟の貸し出しなど促す。
- ・研究協力、取材依頼やマニュアルの送付など要望があれば、積極的に受け入れる。
- ・上記により、アカミミガメを中心に外来生物捕獲に中長期的に携わることのできる人材の発掘や育成を目指す。

## 10. 今後の展開と課題（全体）

### 【アカミミガメ防除を継続してきた流域におけるモニタリングの継続】

継続的に防除を実施し低密度管理が可能となった瀬戸川、谷八木川、赤根川、明石川においては、捕獲方法や手順などを見直ししながら、持続可能な体制を模索しながら引き続きアカミミガメ防除を実施する。[ ]については、アカミミガメ防除だけでは保全していくことは困難であり、アカミミガメ以外の[ ]悪影響のある外来生物（アライグマによる食害、クサガメとの交雑など）の対策や、生息地の保全に関しても、対策が進められるように検討をしていく。

### 【瀬戸川流域における根絶を目指したナガエツルノゲイトウ防除】

2019年にナガエツルノゲイトウの侵入が確認された瀬戸川流域においては、各関係機関と連携し、専門家の指導の下、計画的に防除すすめる。流水域としては初の成功事例となりえる根絶を目指す。当協議会においては、新たな侵入地など早期発見や対策済区間の不備（防草シートの剥がれなど）を発見した際、対策対応機関に報告する。また、当流域全体のナガエツルノゲイトウの侵入・定着状況を常時把握し、地図化した情報を各関係機関と共有する。さらに、各関係機関が集まり、情報共有や計画の見直し等のための連絡会を少なくとも年1回開催していく。

### 【市民等と連携した継続的な防除の推進と普及啓発活動】

外来種対策は、多くの人々にその必要性や重要性を知ってもらい、捕獲などの対策に参加していただくことが重要であり、当該地域の住民が参画し実施することが理想的である。これらを促進するため、2025年度は外来種対策体験を伴う催し「川活・池活」を開催し、市民参加に一定の効果を得た。今後も、「川活・池活」を中心に、防除に賛同いただける幅広い年齢層の市民を増やす普及啓発及び教育活動に努める。

### 【これまで確立させてきたアカミミガメ防除方法を用いた新たな空間での防除の推進】

これまでの確立させてきたアカミミガメ防除方法を用いて、新たな空間でアカミミガメ防除を進め、より広域でのネイチャーポジティブを目指す。すでに活動を行っている地域団体等と連携し、新たな空間の選定のための基礎調査を行っていく。